

飛島村公共交通に関する 住民アンケート調査結果について

令和6年12月

<目 次>

住民アンケート調査結果について.....	1
1 調査概要.....	1
(1) 実施概要.....	1
(2) 結果概要.....	2
2 調査結果.....	3
(1) 属性.....	3
(2) 外出の頻度や目的について.....	7
(3) 日常の移動に対する意識について.....	17
(4) バス等の利用実態とその満足度について.....	20
(5) 飛島村の公共交通（バス）事業について.....	28
(6) 飛島バス等を「まったく利用しない人」への設問.....	40
(7) 公共交通の転換見通しについて.....	43

住民アンケート調査結果について

1 調査概要

(1)実施概要

飛島村地域公共交通計画に基づく地域公共交通施策に対する村民のニーズと、地域公共交通の利用状況等を把握するため、村民向けアンケート調査を実施した。

○住民アンケート調査概要

調査対象	公共交通（バス）に関する住民アンケート調査 村内在住の16歳以上の住民から無作為で抽出
調査方法	郵送配布 郵送回収、WEB回収
調査期間	2024年8月23日（金）配布 9月9日（月）締め切り （9月30日（月）到着分まで対応）
標本数 回収率	配布数：1,200票 回収数：390票 回収率：32.5%
アンケート項目	問1：アンケート対象者の属性 問2：外出の頻度や目的 問3：日常の移動に対する意識 問4：バス等の利用実態と満足度 問5：公共交通（バス）事業に対する意向 問6：利用しない人の理由と利用見通し 問7：公共交通への転換見通し

○集計結果について

- ・集計結果の数値は、小数点以下2桁を四捨五入した値で表記している。
- ・単一回答（シングルアンサー：SA）の集計グラフについては、四捨五入による表記の都合から合計値が100%にならない場合がある。

(2)結果概要

1) 日常の移動に対する意識について (問3 関係)

日常の公共交通での移動に不便を感じているかを確認すると「感じている (32.1%)」「やや感じている (29.2%)」を合計した割合は 61.3%となり、過半数を超える住民が公共交通の移動について不便を感じている。

不便に感じている人に、その理由を確認すると、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」の割合が最も多く 70.7%である。次いで、「車の方が公共交通と比べて便利 (50.2%)」、「自宅からバス停留所までが遠い (39.3%)」である。

利用しづらいために外出を控えたことがあるかを確認すると、「よくある (6.4%)」「たまにある (22.6%)」を合計した 29.0%の人が外出を控えたことがあると回答している。

2) 蟹江線に対する満足度 (問4 関係)

蟹江線の満足度は、「満足 (6.4%)」「おおむね満足 (24.6%)」の合計が 31.0%、「やや不満 (23.6%)」「不満 (14.6%)」の合計が 38.2%となっており、不満と回答する割合が多くなっている。

不満の理由を見ると、「乗りたい時間に運行していない」の割合が最も多く 81.2%である。次いで、「目的地まで早く行けない (時間がかかる) (36.9%)」、「自宅から停留所までが遠い (35.6%)」である。

3) 飛島バス等の路線維持のための財源投入に対する理解について (問5 関係)

財源投入に対する意見としては、「公平性の観点から賛成である、公平性重視」が 53.3%で、「効率性重視」(10.3%) よりも大きく上回っている。

財政投入に対する評価としては、「妥当」との回答が 44.9%と最も多いものの、「多すぎる (12.8%)」「やや多すぎる (34.4%)」の小計が 47.2%となり、飛島バス等に対する投入額は多いとする村民は多い。

その一方で、サービス水準の総合評価については、「妥当 (14.4%)」「おおむね妥当 (39.2%)」の合計が 53.6%で、「やや不満 (19.5%)」「不満 (8.7%)」が 28.2%となり、概ね妥当とする意見が大きく上回っている。

4) 蟹江線の利便性向上について (問5-6)

蟹江線について「新たな経費投入があるものの増便させるべき」は 37.4%、「運賃値上げを条件に増便させるべき」の 16.7%を加えると 54.1%となり、過半数の住民が蟹江線の増便を賛同している。

5) 公共交通の転換見通しについて (問7)

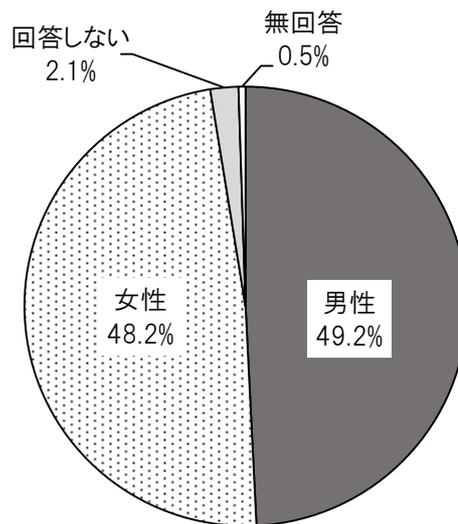
利用転換の見通しについては「たまにならできると思う (18.7%)」と「将来、年をとったらできると思う (35.1%)」を合わせると 53.8%で、転換する可能性はある。一方で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」は 30.5%である。

2 調査結果

(1)属性

① 性別

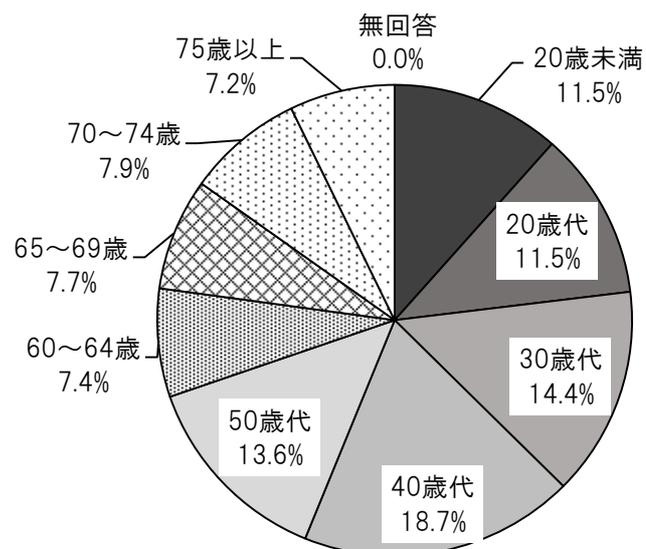
男性が 49.2%、女性が 48.2%である。



全体(SA) n=390

② 年齢

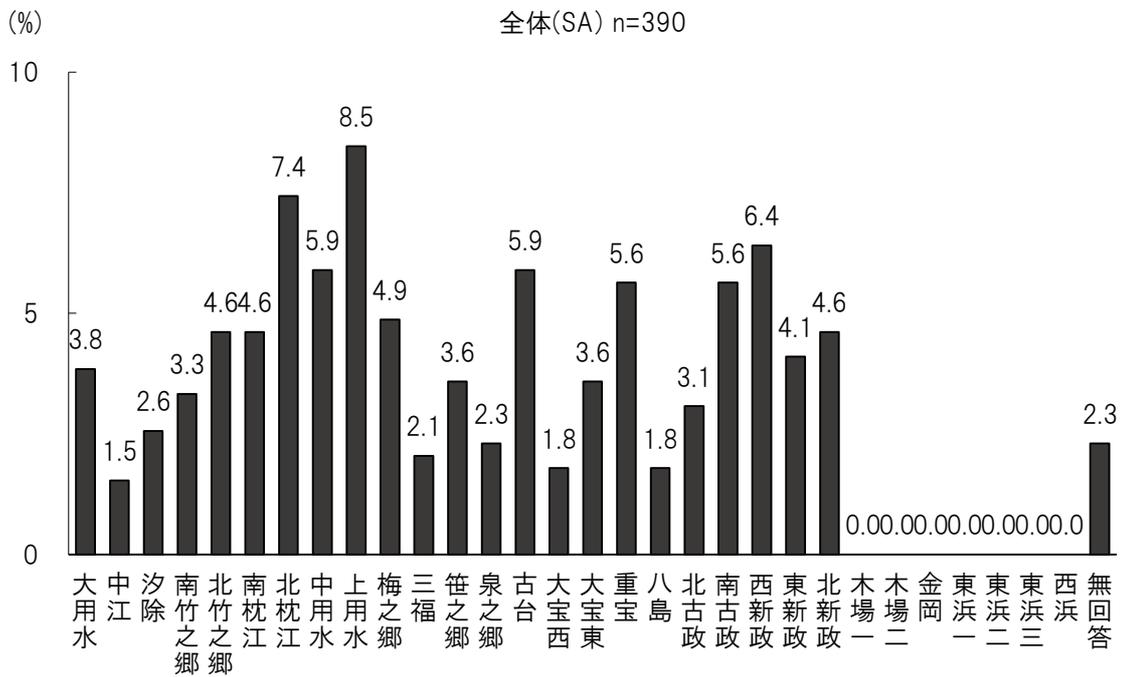
幅広い年代に分散している。



全体(SA) n=390

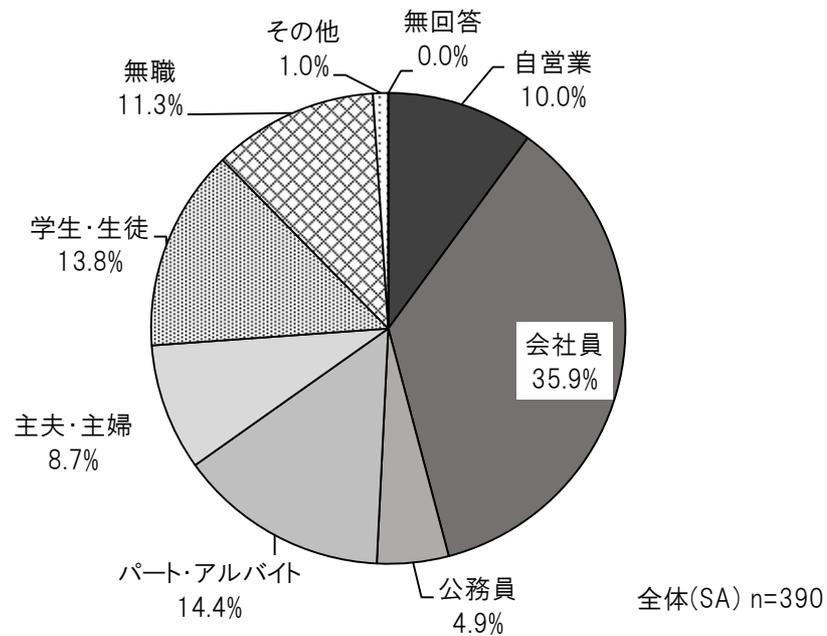
③ 住まい

幅広い地区に分散している。



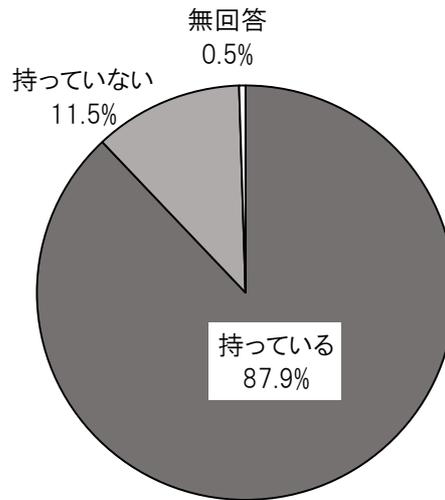
④ 職業

「会社員」の割合が最も多く 35.9%である。次いで、「パート・アルバイト (14.4%)」、「学生・生徒 (13.8%)」である。



⑤ 自動車運転免許証の所有

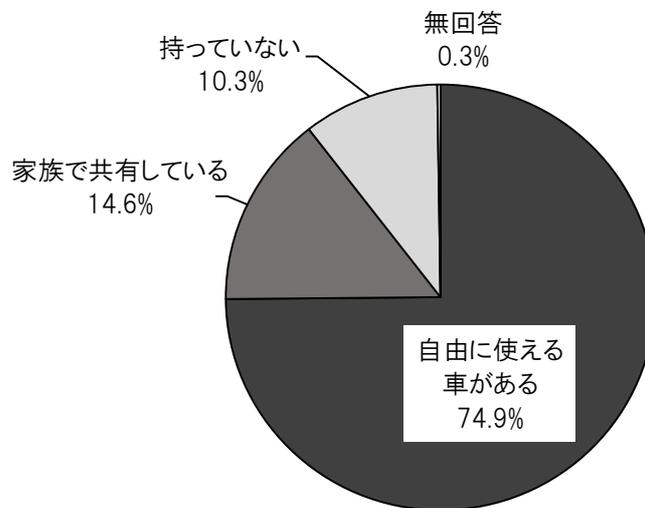
「持っている」が87.9%で、「持っていない」は11.5%である。



全体(SA) n=390

⑥ 自家用車の所有

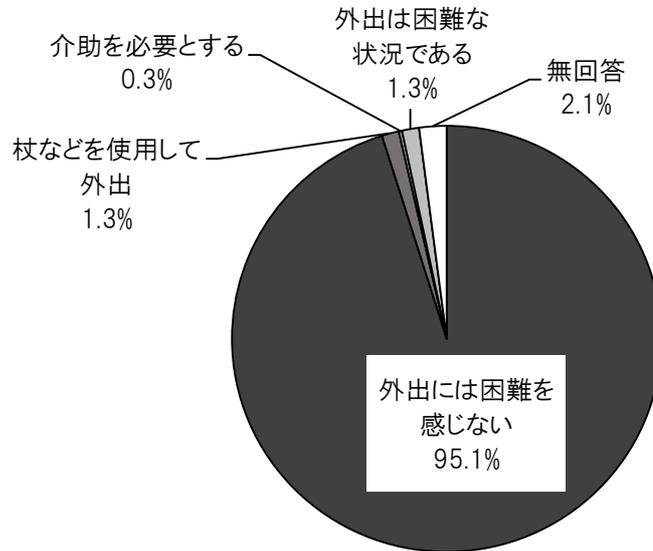
「持っていない」10.3%である。



全体(SA) n=390

⑦ 通勤・通学を含む外出について

外出に対する困難な状況の有無については、「困難を感じない」が95.1%、「外出は困難な状況である」は1.3%である。

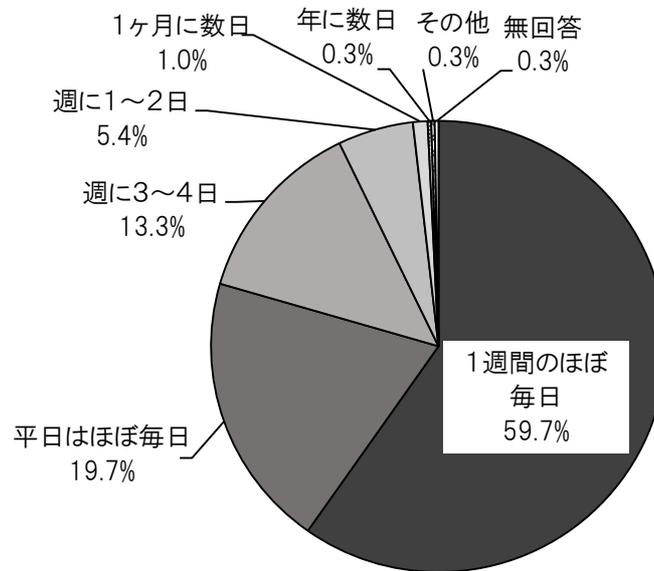


全体(SA) n=390

(2)外出の頻度や目的について

問2-1 あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)。

「1週間のほぼ毎日」の割合が最も多く 59.7%である。次いで、「平日はほぼ毎日 (19.7%)」、「週に3～4日 (13.3%)」である。

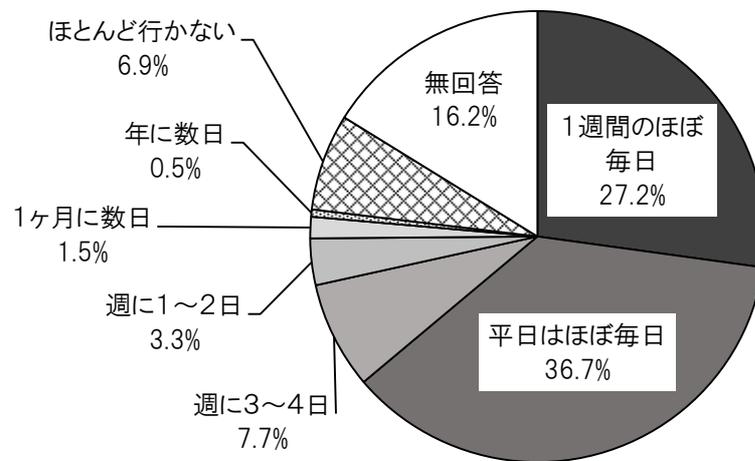


全体(SA) n=390

問2-2. 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。（「通勤」には、自営・農業等を含みます）

① 通勤・通学の頻度

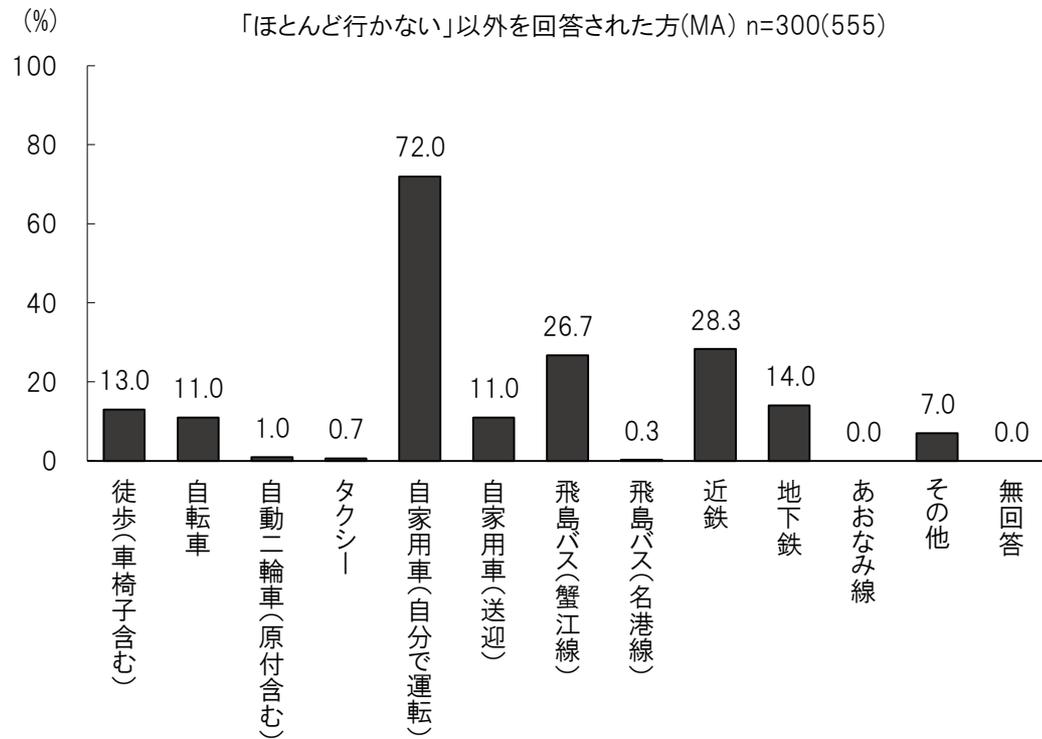
通勤・通学の頻度を見ると「平日はほぼ毎日」の割合が最も多く 36.7%である。次いで、「1週間のほぼ毎日（27.2%）」、「週に3～4日（7.7%）」である。



全体(SA) n=390

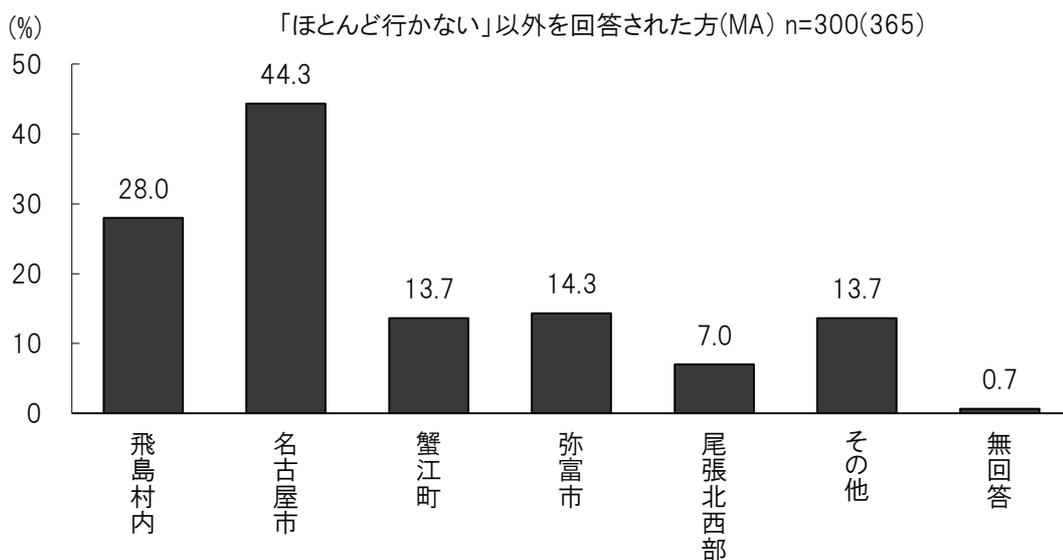
② 通勤・通学の交通手段

通勤・通学時に「飛島バス（蟹江線）」を利用している割合は、26.7%である。



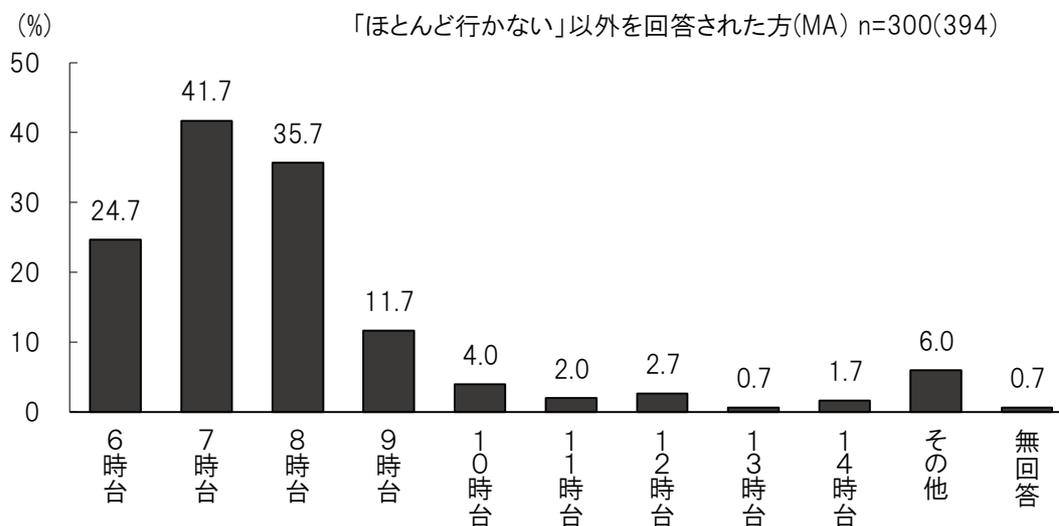
③ 通勤・通学の目的地

「名古屋市」の割合が最も多く 44.3%である。次いで、「飛島村内（28.0%）」、「弥富市（14.3%）」である。



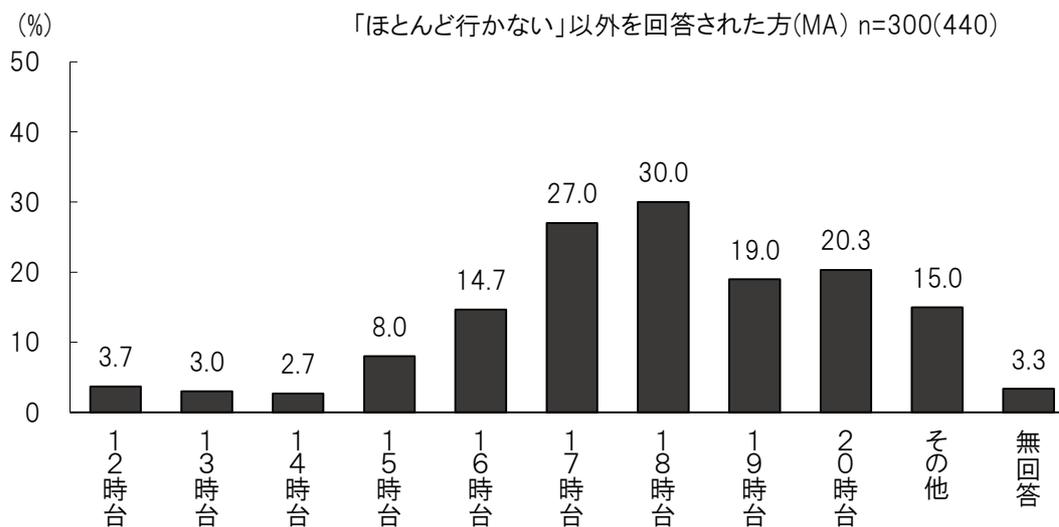
④ 通勤・通学の出発時間帯

「7時台」の割合が最も多く41.7%である。次いで、「8時台(35.7%)」、「6時台(24.7%)」である。



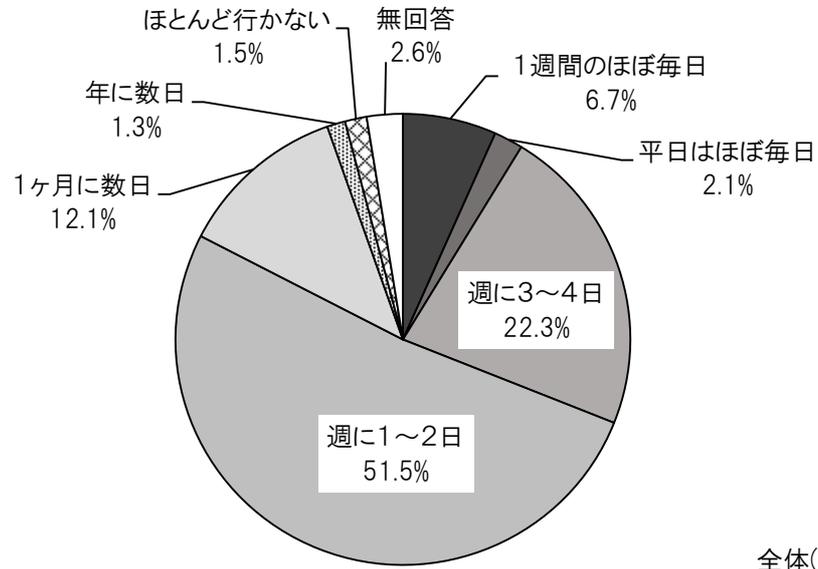
⑤ 通勤・通学の帰宅時間帯

「18時台」の割合が最も多く30.0%である。次いで、「17時台(27.0%)」、「20時台(20.3%)」である。



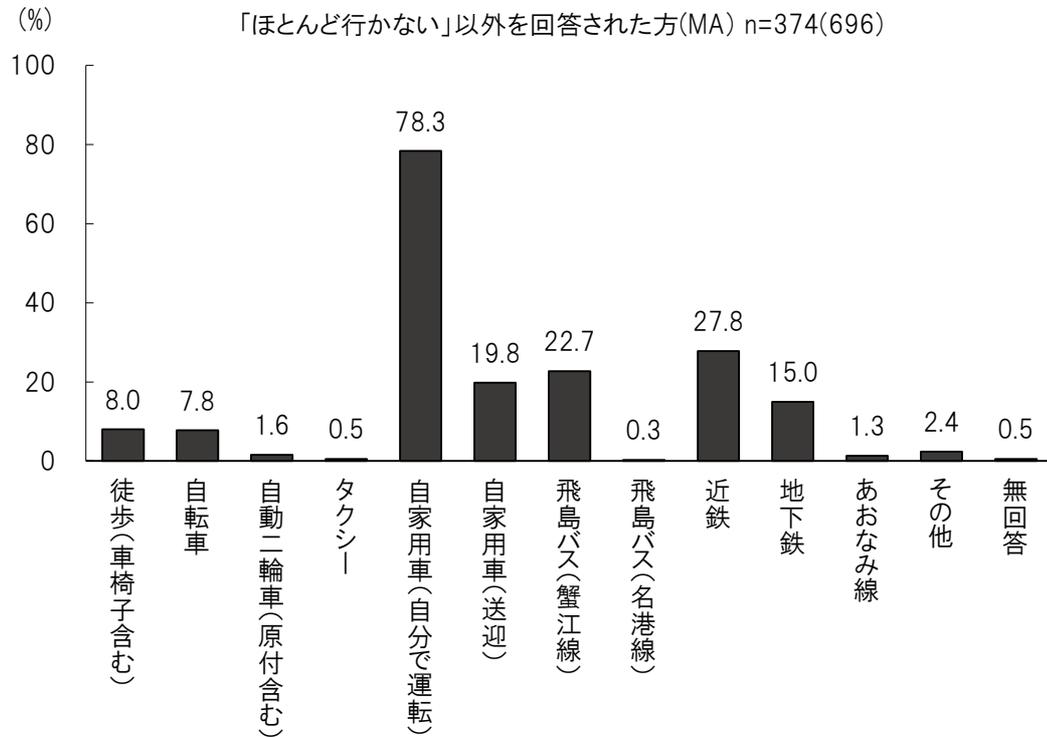
⑥ 買い物や娯楽の頻度

「週に1～2日」の割合が最も多く51.5%である。次いで、「週に3～4日(22.3%)」、「1ヶ月に数日(12.1%)」である。



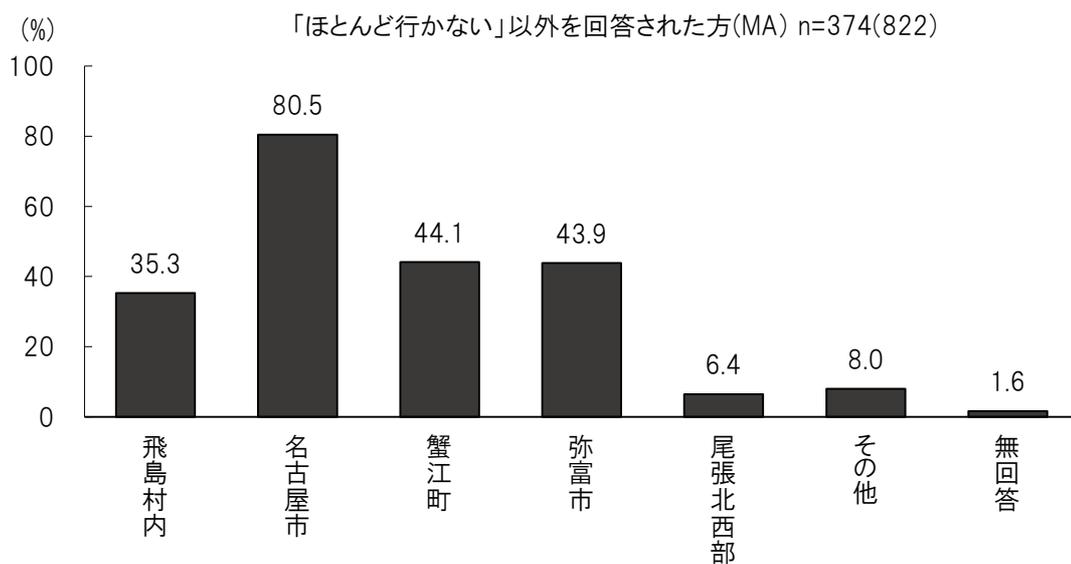
⑦ 買い物や娯楽の交通手段

「自家用車（自分で運転）」の割合が最も多く 78.3%である。次いで、「近鉄（27.8%）」、「飛島バス（蟹江線）（22.7%）」である。



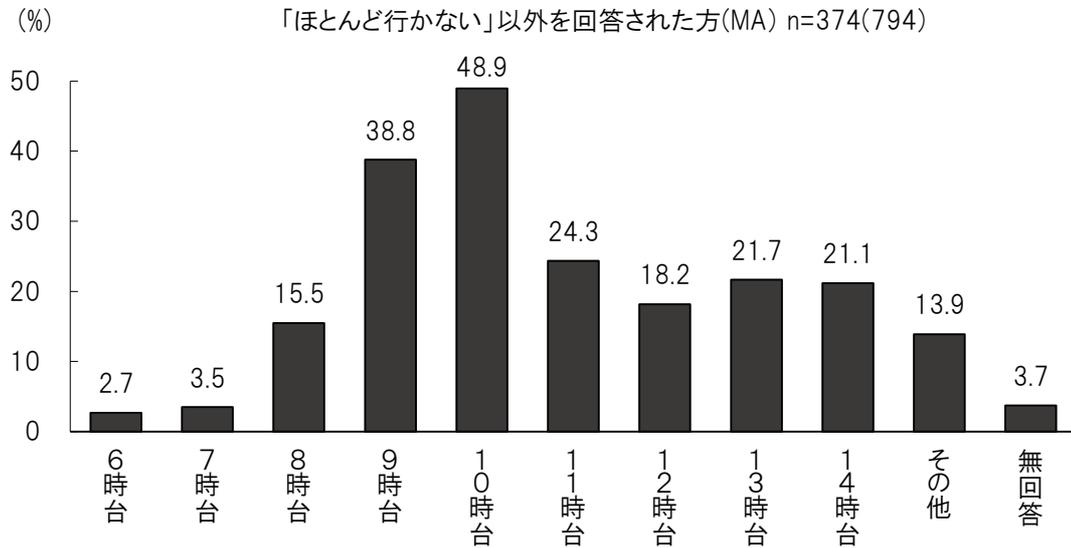
⑧ 買い物や娯楽の目的地

「名古屋市」の割合が最も多く 80.5%である。次いで、「蟹江町（44.1%）」、「弥富市（43.9%）」である。



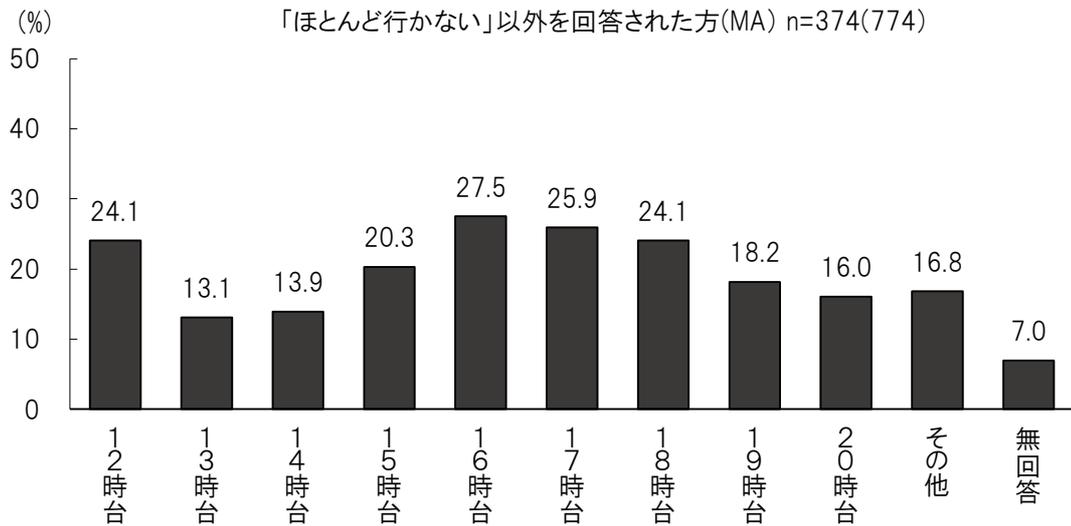
⑨ 買い物や娯楽の出発時間帯

「10時台」の割合が最も多く48.9%である。次いで、「9時台(38.8%)」、「11時台(24.3%)」である。



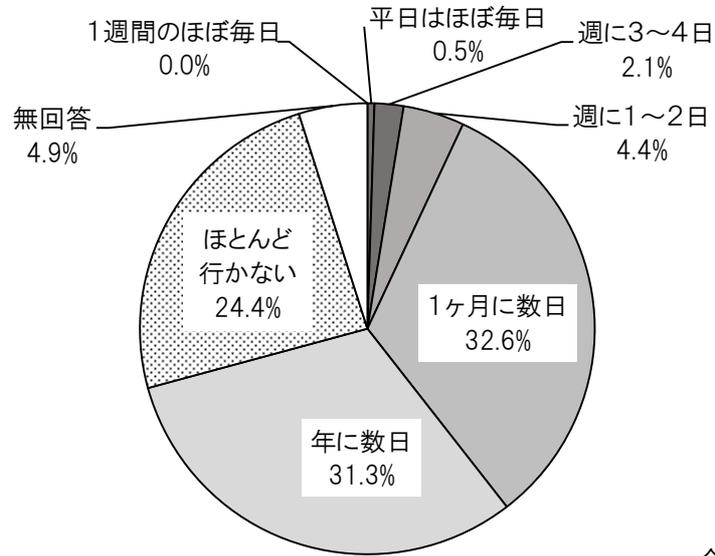
⑩ 買い物や娯楽の帰宅時間帯

「16時台」の割合が最も多く27.5%である。次いで、「17時台(25.9%)」、「12時台(24.1%)」、「18時台(24.1%)」である。



① 【病院や福祉施設の頻度】

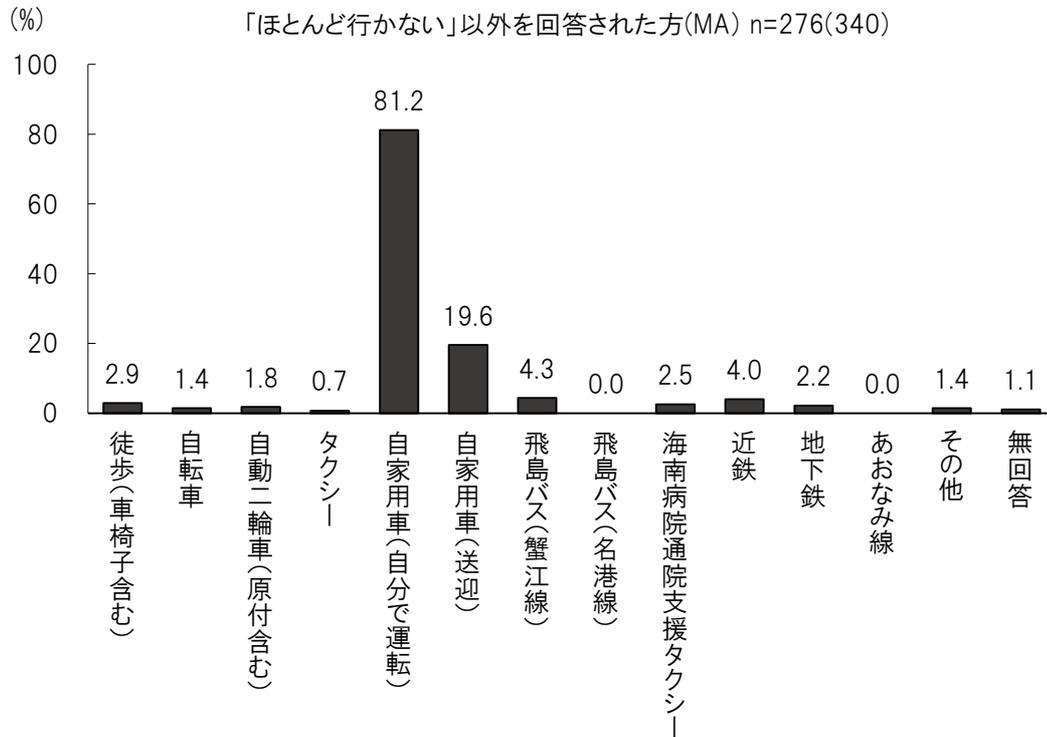
「1ヶ月に数日」の割合が最も多く32.6%である。次いで、「年に数日（31.3）」、「ほとんど行かない（24.4%）」である。



全体(SA) n=390

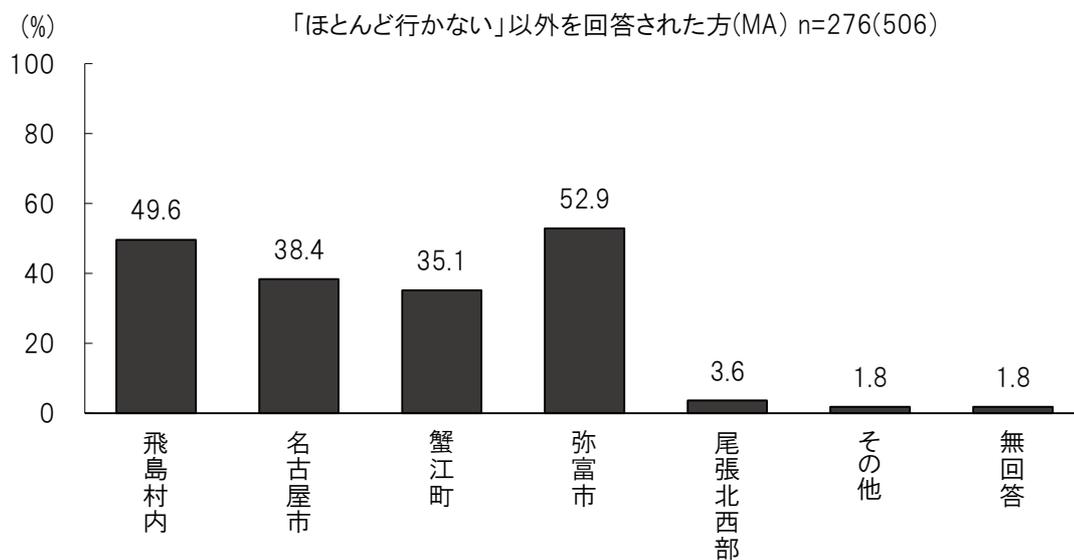
⑫ 病院や福祉施設の交通手段

「自家用車（自分で運転）」の割合が最も多く 81.2%である。次いで、「自家用車（送迎）（19.6%）」、「飛島バス（蟹江線）（4.3%）」である。「海南病院通院支援タクシー」の利用は 2.5%である。



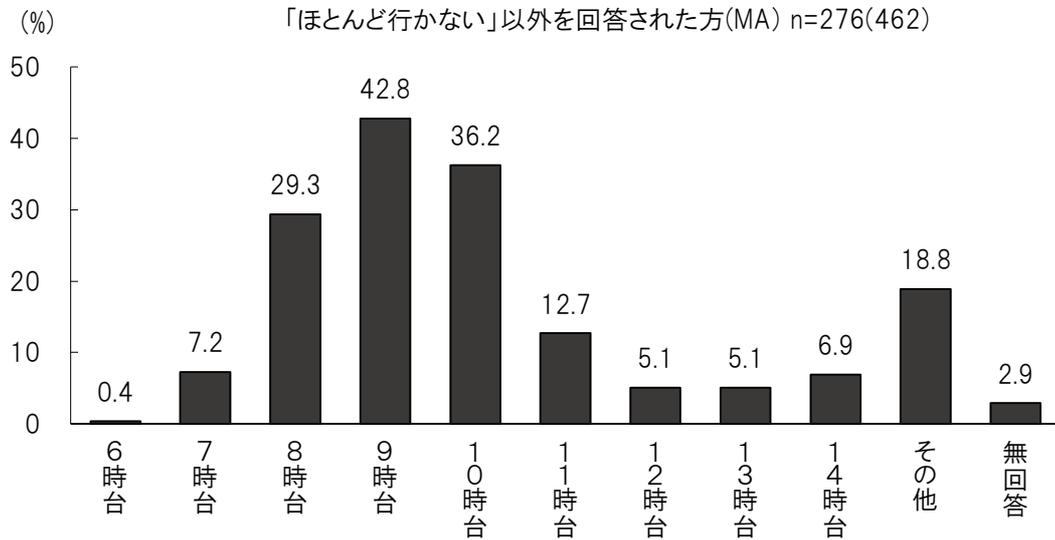
⑬ 病院や福祉施設の目的地

「弥富市」の割合が最も多く 52.9%である。次いで、「飛島村内（49.6%）」、「名古屋市（38.4%）」である。



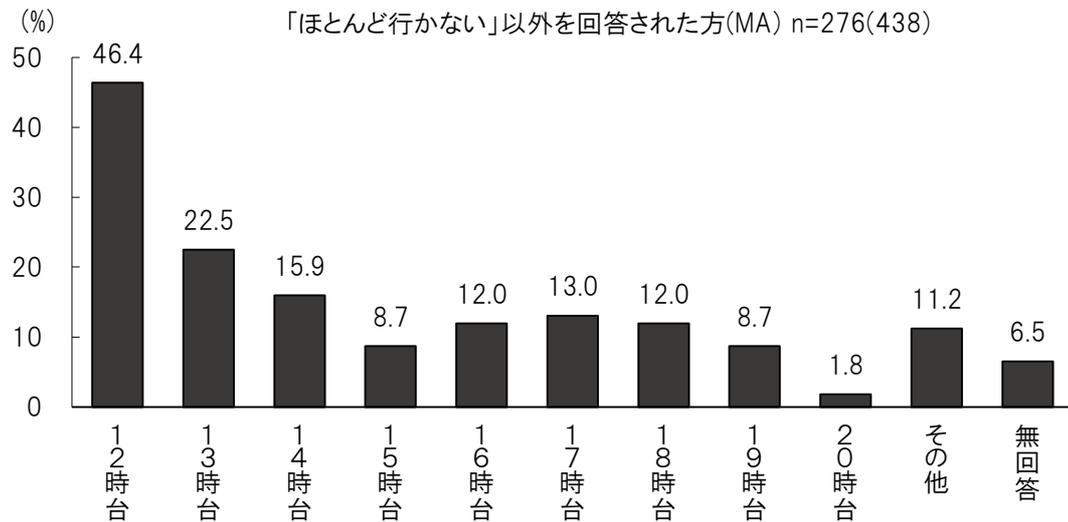
⑭ 病院や福祉施設の出発時間帯

「9時台」の割合が最も多く42.8%である。次いで、「10時台(36.2%)」、「8時台(29.3%)」である。



⑮ 病院や福祉施設の帰宅時間帯

「12時台」の割合が最も多く46.4%である。次いで、「13時台(22.5%)」、「14時台(15.9%)」である。

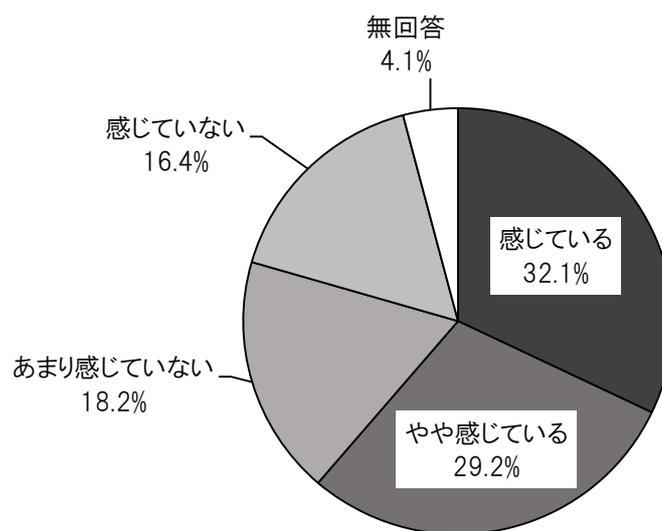


(3) 日常の移動に対する意識について

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？（1つに○）

「感じている」の割合が最も多く 32.1%である。「感じていない」は 16.4%である。

「感じている (32.1%)」「やや感じている (29.2%)」を合計した割合は 61.3%となり、過半数を超える住民が公共交通の移動について不便を感じている。

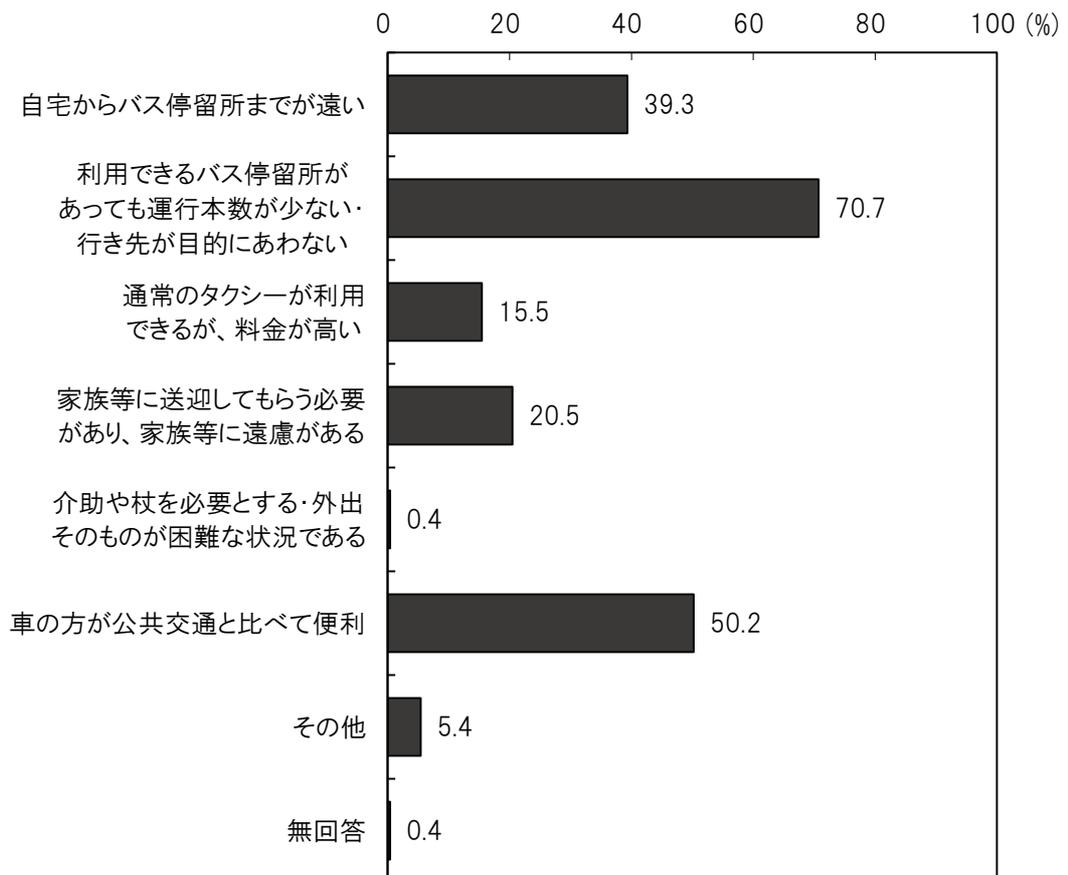


全体(SA) n=390

上記問3-1で、1または2を選択した、日常の公共交通での移動に不便を感じている人にお伺いします。不便を感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」の割合が最も多く70.7%である。次いで、「車の方が公共交通と比べて便利（50.2%）」、「自宅からバス停留所までが遠い（39.3%）」である。

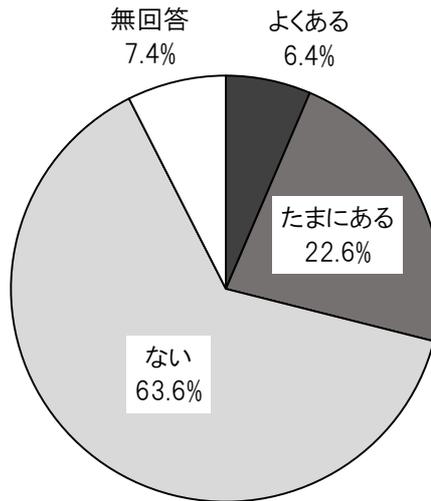
公共交通での移動に「不便を感じている」「やや感じている」と回答された方(MA)
n=239(484)



問3-2. 「公共交通（バス・タクシー）の停留所がない」または「利用しづらい」ために、
外出を控えたことがありますか？（1つに○）

「ない」の割合が最も多く 63.6%である。次いで、「たまにある（22.6%）」、「よくある（6.4%）」である。

「よくある（6.4%）」「たまにある（22.6%）」を合計した 29.0%の人が外出を控えたことがあると回答している。



全体(SA) n=390

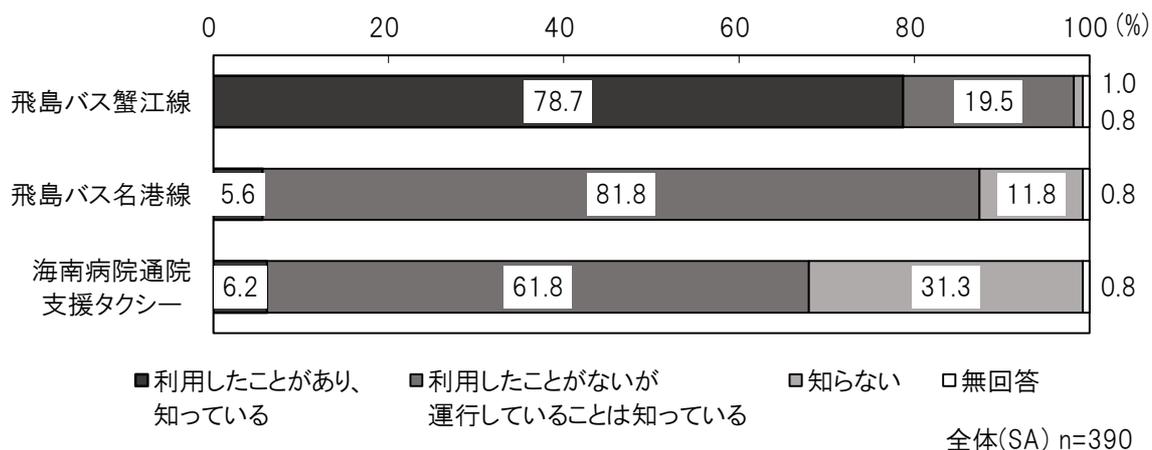
(4)バス等の利用実態とその満足度について

問4-1. 飛島村内のバス等の公共交通の利用状況についてお伺いします。

(1) あなたは村内の公共交通について、知っていますか？

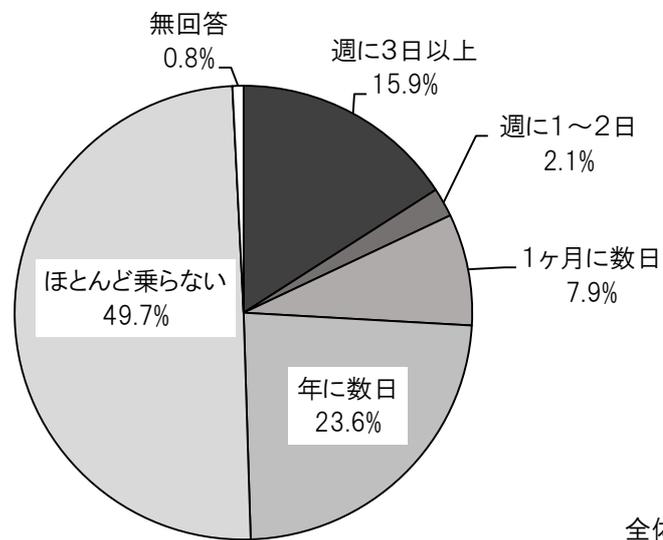
公共交通機関の認知度を見ると、「利用したことがあり、知っている」は蟹江線で78.7%、名港線は5.6%、海南病院通院支援タクシーは6.2%である。

一方で「知らない」の割合は、蟹江線で1.0%、名港線は11.8%、海南病院通院支援タクシーは31.3%である。



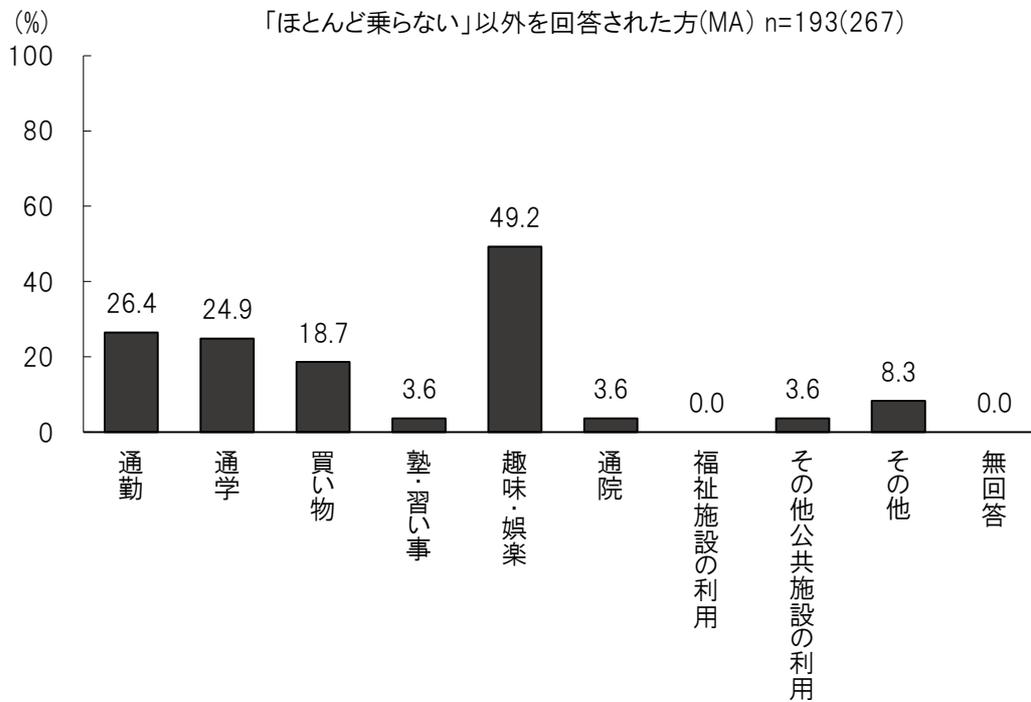
問4-1. (2) あなたは村内の公共交通をどの程度利用されますか？(1つに○)

利用している人(「週3日以上」「週に1~2日」「1ヶ月に数日」「年に数日」)は、49.5%、「ほとんど乗らない」は49.7%である。



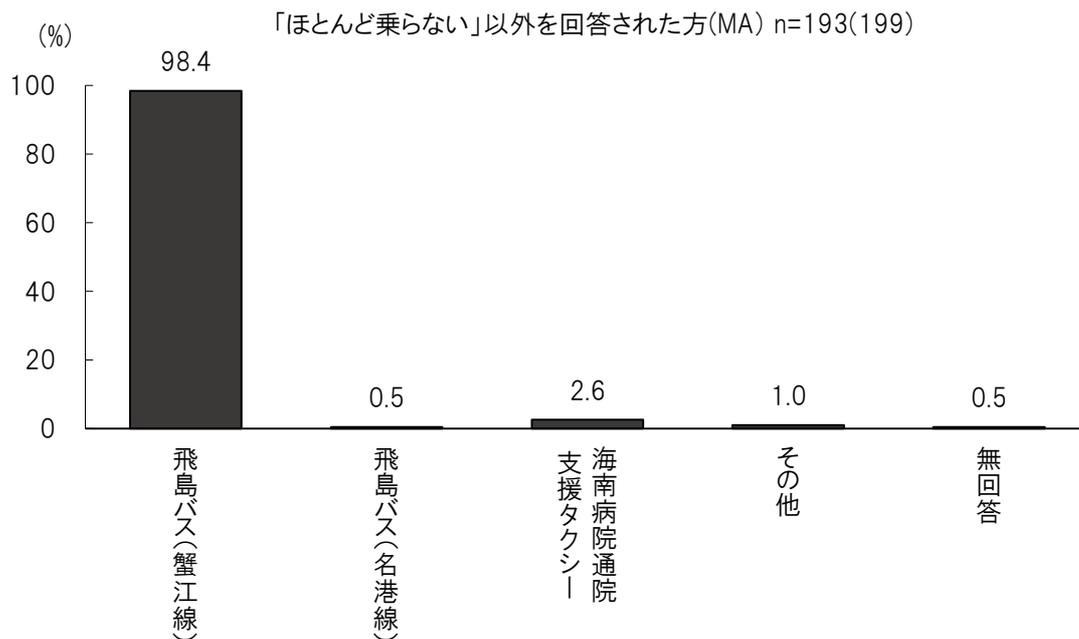
問4-1. (3) 主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

「趣味・娯楽」の割合が最も多く 49.2%である。次いで、「通勤(26.4%)」、「通学(24.9%)」である。



問4-1. (4) 主に利用する公共交通をお答えください。(すべてに○)

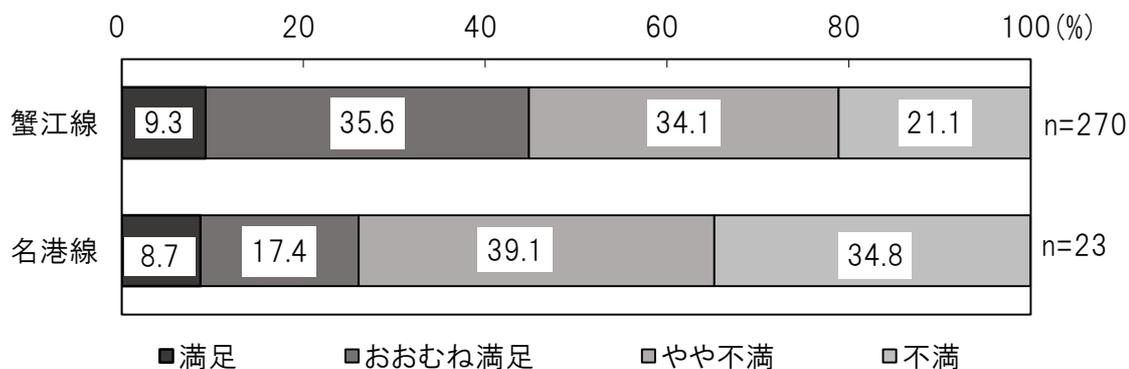
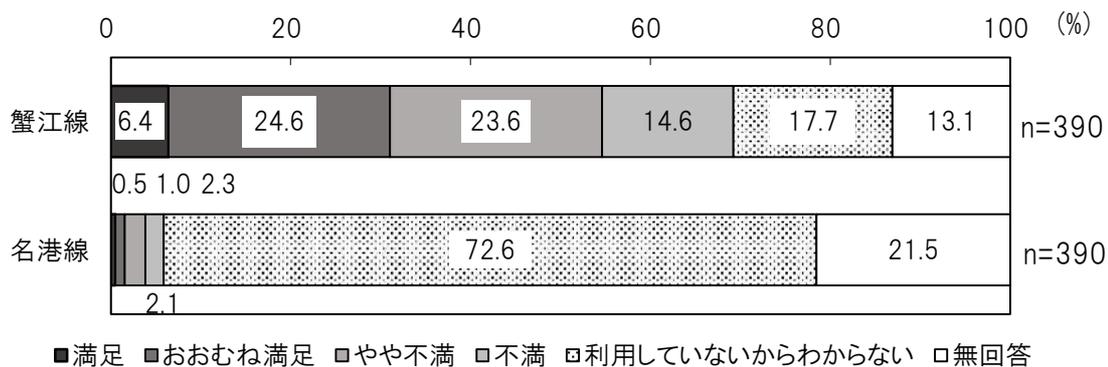
「飛島バス(蟹江線)」が 98.4%、「飛島バス(名港線)」が 0.5%である。



問4-2. 現状の「飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）」のサービス水準（運行本数、ルート等）について、満足していますか？（1つに○）また、その満足・不満の理由をお答えください。

「満足」と「おおむね満足」の割合を見ると、蟹江線は31.0%、名港線は2.6%である。
 「やや不満」と「不満」の割合は、蟹江線で38.2%、名港線で4.4%である。

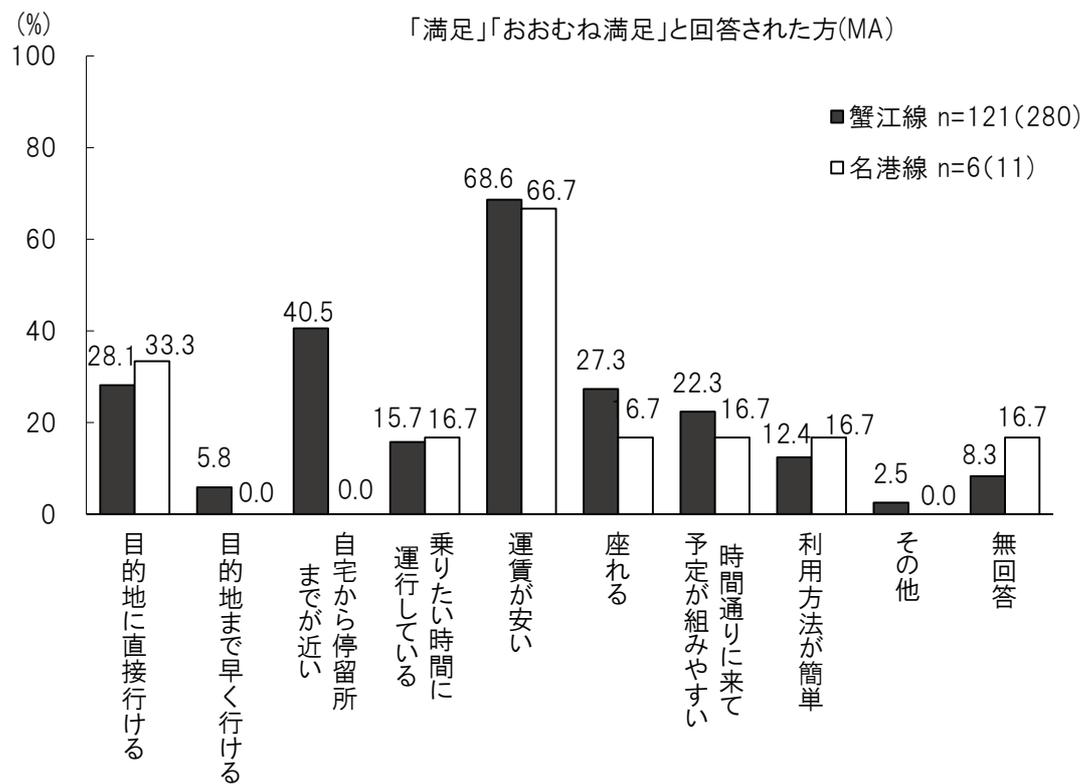
蟹江線の満足度は、「満足（6.4%）」「おおむね満足（24.6%）」の合計が31.0%、「やや不満（23.6%）」「不満（14.6%）」の合計が38.2%となっており、不満と回答する割合が多くなっている。



問4-2. 満足、不満の理由（3つまで○）

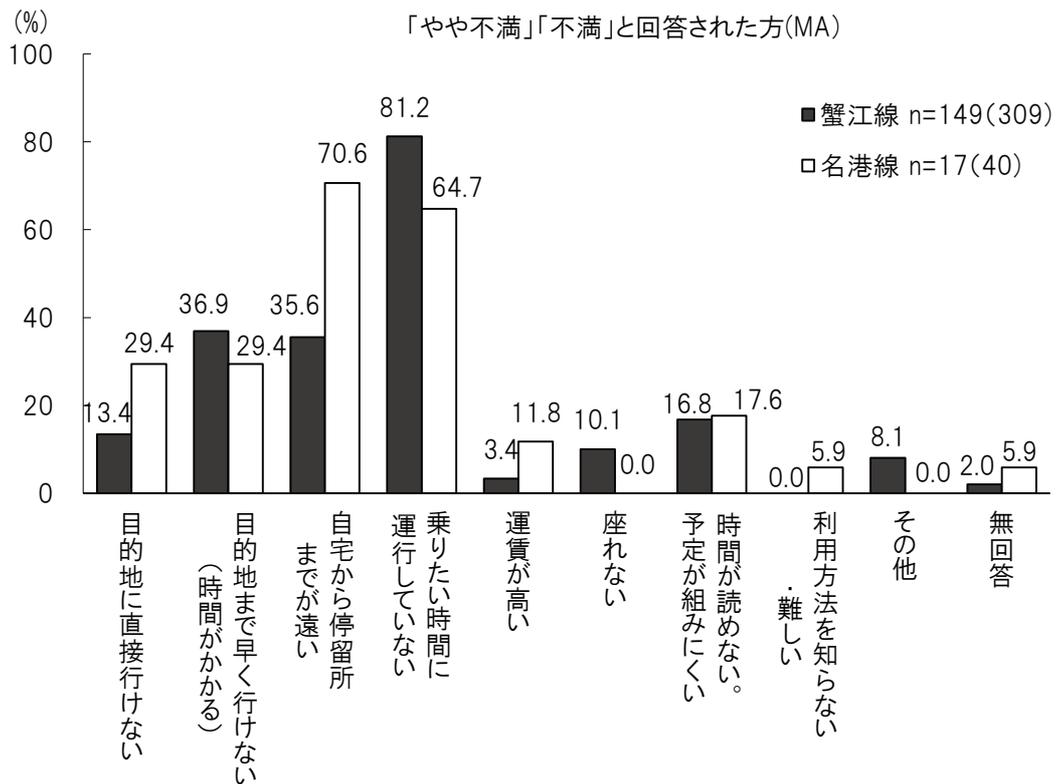
満足の理由を見ると、蟹江線では「運賃が安い」の割合が最も多く 68.6%である。次いで「自宅から停留所までが近い（40.5%）」、「目的地に直接行ける（28.1%）」である。

名港線では「運賃が安い」の割合が最も多く 66.7%である。次いで、「目的地に直接行ける（33.3%）」である。



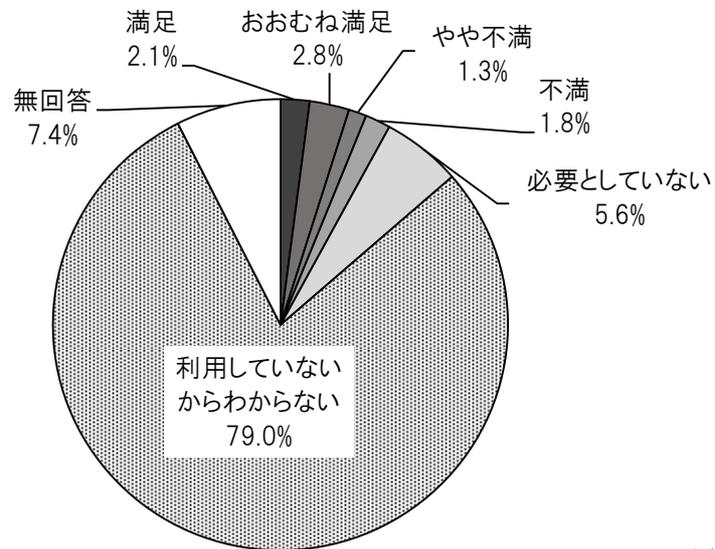
不満の理由を見ると、蟹江線では「乗りたい時間に運行していない」の割合が最も多く81.2%である。次いで、「目的地まで早く行けない（時間がかかる）（36.9%）」、「自宅から停留所までが遠い（35.6%）」である。

名港線は「自宅から停留所までが遠い」の割合が最も多く70.6%である。次いで、「乗りたい時間に運行していない（64.7%）」、「目的地に直接行けない」と「目的地まで早く行けない（時間がかかる）」がともに29.4%である。



問4-3. 「海南病院通院支援タクシー」のサービス水準（運行本数、ルート等）について、満足していますか？（1つに○）また、その満足・不満の理由をお答えください。

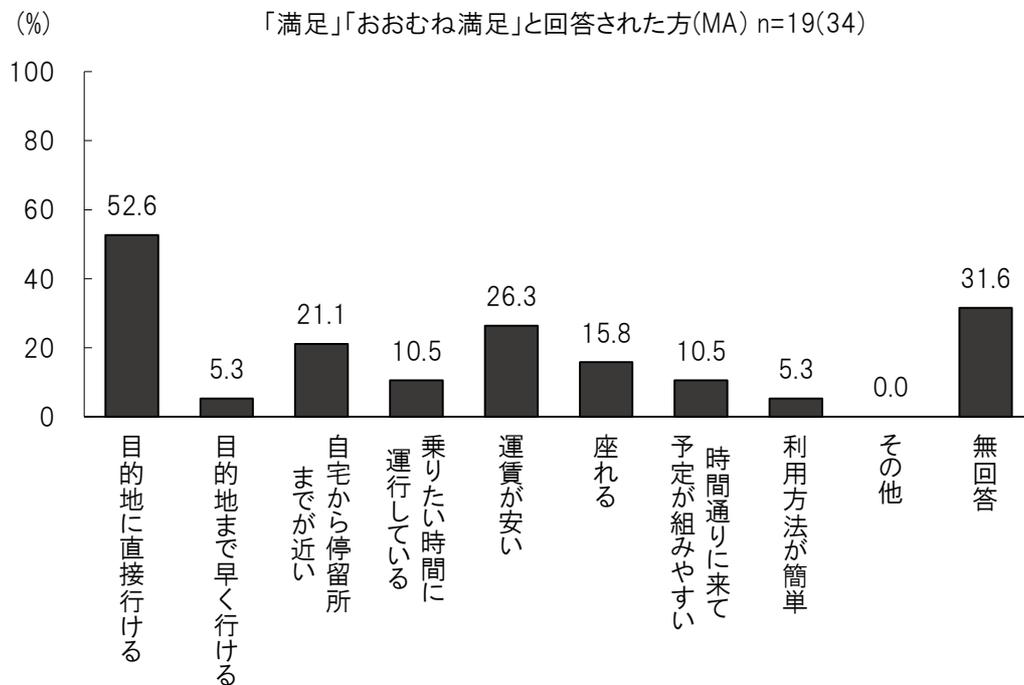
「満足」と「おおむね満足」は4.9%、「やや不満」と「不満」は3.0%である。



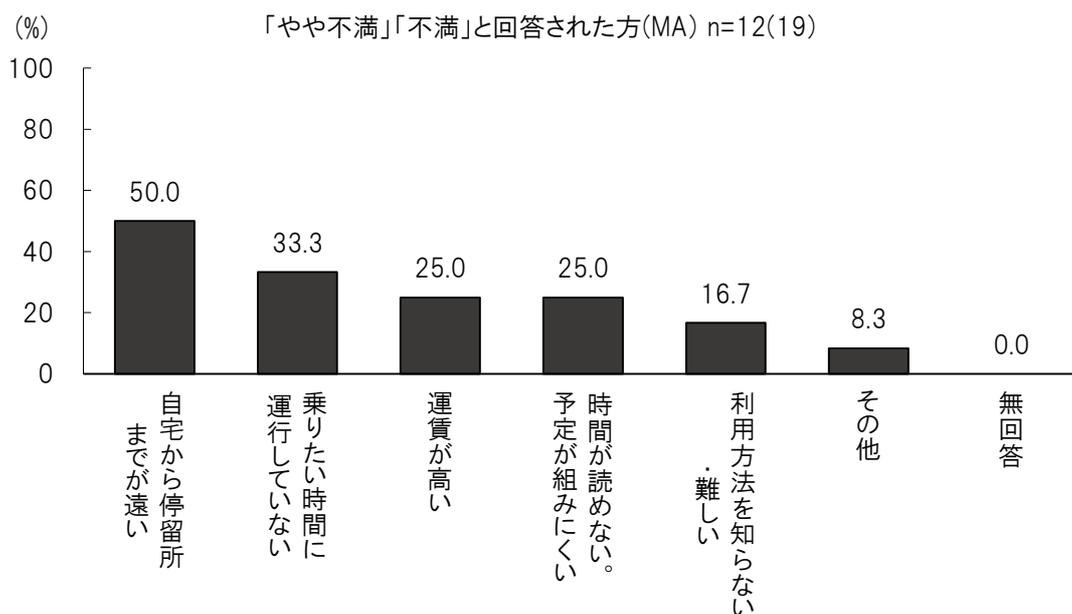
全体(SA) n=390

問4-3. 満足、不満の理由（3つまで○）

満足の理由を見ると、「目的地に直接行ける」の割合が最も多く 52.6%である。次いで、「無回答（31.6%）」、「運賃が安い（26.3%）」である。



不満の理由を見ると、「自宅から停留所までが遠い」の割合が最も多く 50.0%である。次いで、「乗りたい時間に運行していない（33.3%）」、「運賃が高い（25.0%）」、「時間が読めない。予定が組みにくい（25.0%）」である。



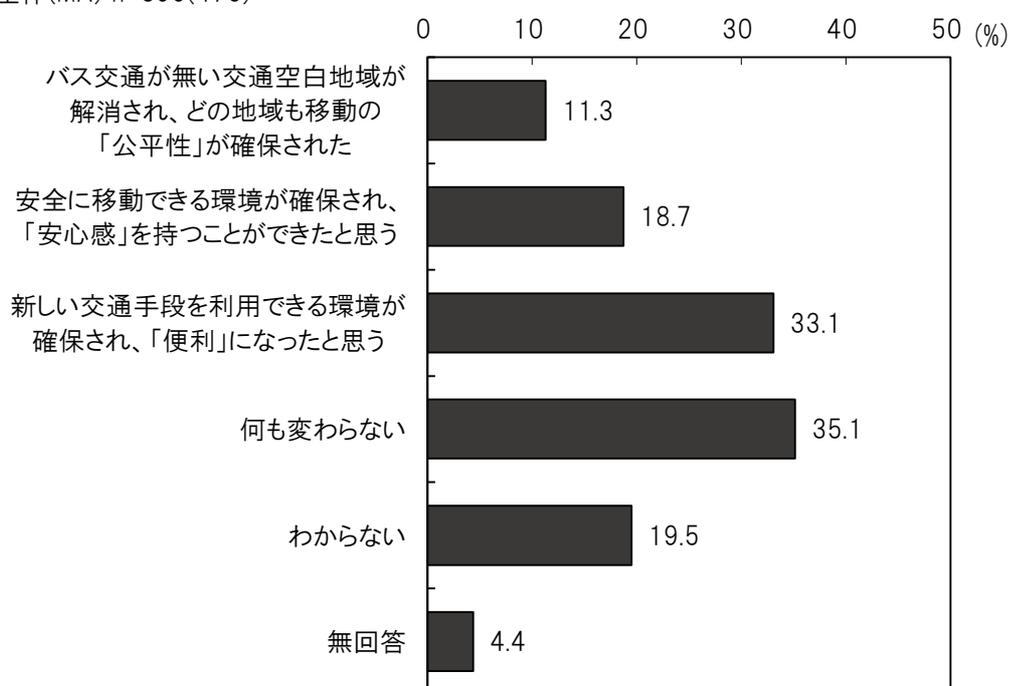
(5) 飛島村の公共交通(バス)事業について

問5-1. 飛島村では平成21年から皆さまの生活の足としての「飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)・海南病院通院支援タクシー(以下「飛島バス等」といいます。)」の運行を開始しました。

(1) 飛島バス等の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。(すべてに○)

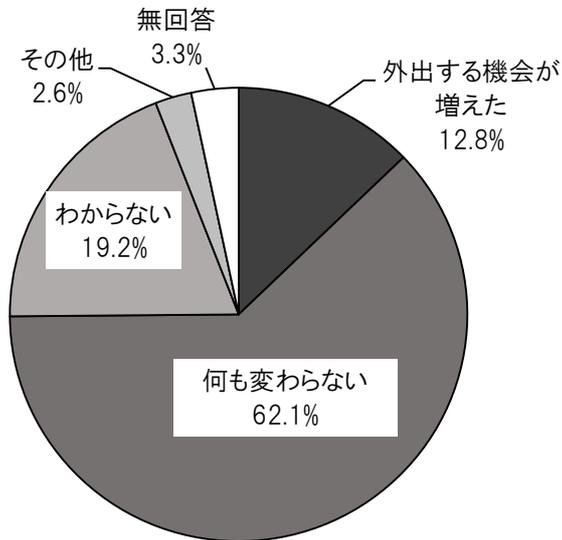
飛島バス等の導入により、生活環境に対する変化の状況については、「何も変わらない」が35.1%と最も多かった。「便利になった」は33.1%、「安心感を持つことができた」が18.7%、「移動の公平性が確保された」が11.3%であった。このように効果があった割合(小計)は63.1%で「何も変わらない」を上回る結果となった。

全体(MA) n=390(476)



(2) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

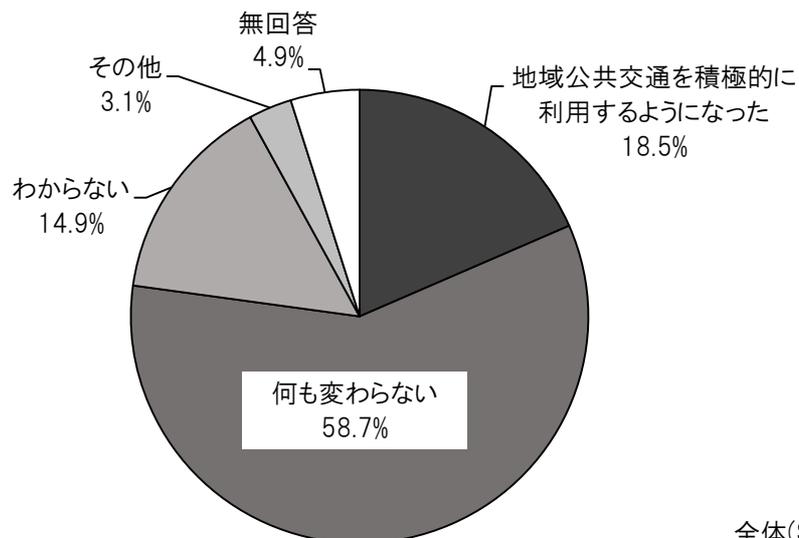
外出機会の変化については、「何も変わらない」が62.1%と多いものの、「外出する機会が増えた」は12.8%であった。



全体(SA) n=390

(3) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

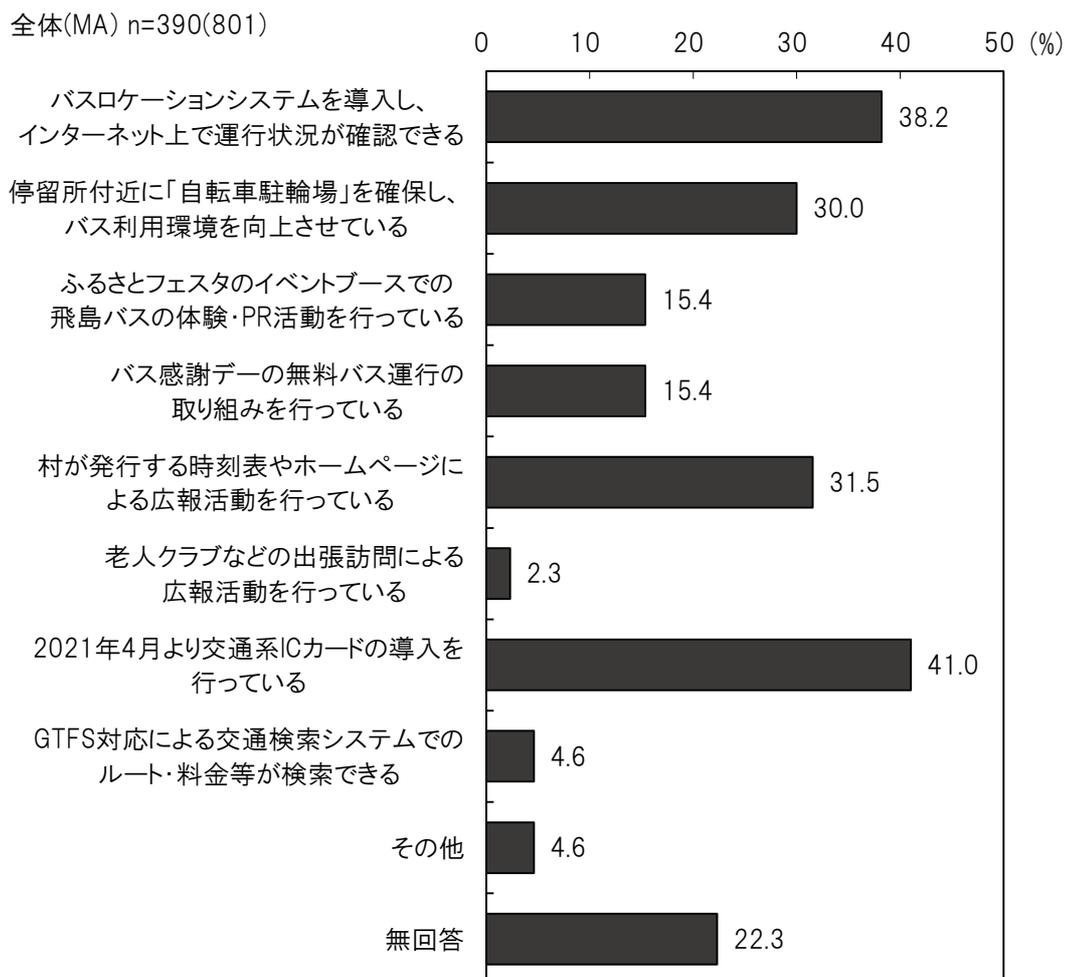
「地域公共交通を積極的に利用するようになった」が18.5%である。



全体(SA) n=390

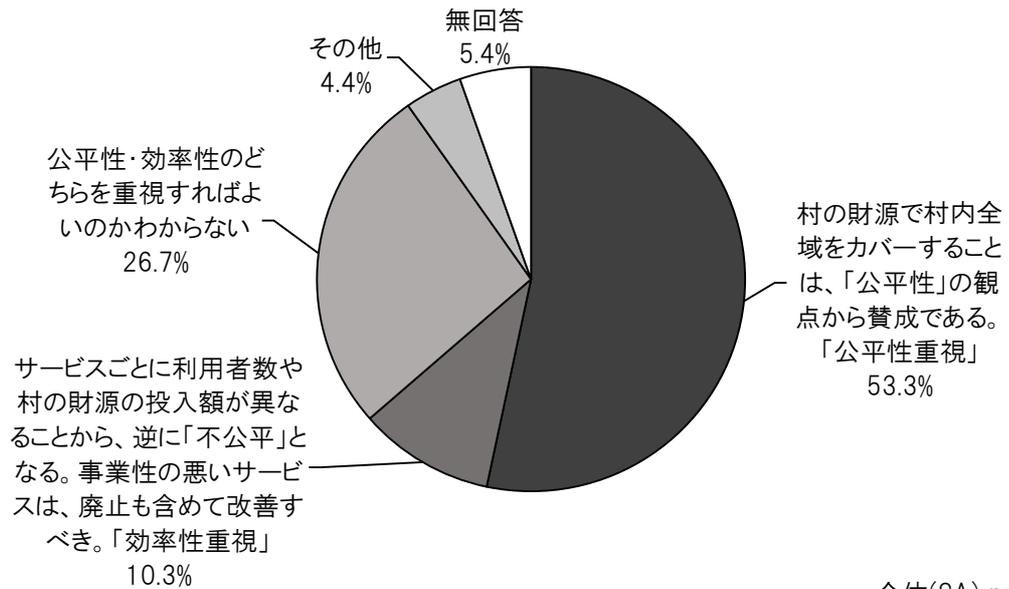
(4) これまで、飛島バス等の利用を促すために、村によりさまざまな取り組みを行ってきました。選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

「2021年4月より交通系ICカードの導入を行っている」の割合が最も多く41.0%である。次いで、「バスロケーションシステムを導入し、インターネット上で運行状況が確認できる(38.2%)」、「村が発行する時刻表やホームページによる広報活動を行っている(31.5%)」である。



問5-2. 生活の足としての飛島バス等を維持することで、飛島村内の交通空白地域は小さくなる一方で、それぞれの路線維持のために村の財源を投入しています。村の財源の投入による公共交通のサービス提供についてあなたは、どう思いますか？(1つに○)

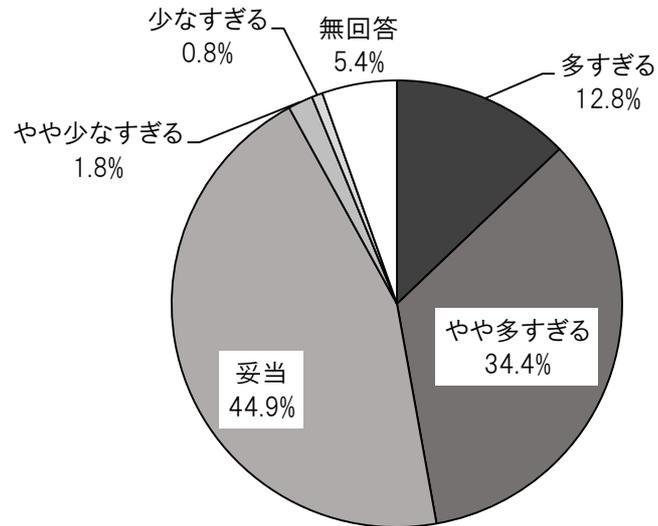
財源投入に対する意見としては、「公平性重視」が53.3%で、「効率性重視」(10.3%)よりも大きく上回っている。



全体(SA) n=390

問5-3. 生活の足としての飛島バス等を維持するために「1世帯当たり年間約66,038円の村の財源を投入しています。この投入額を、どう思いますか？(1つに○)

財政投入に対する評価としては、「妥当」との回答が44.9%と最も多いものの、「多すぎる(12.8%)」「やや多すぎる(34.4%)」の小計が47.2%となり、飛島バス等に対する投入額は多いとする村民は多い。



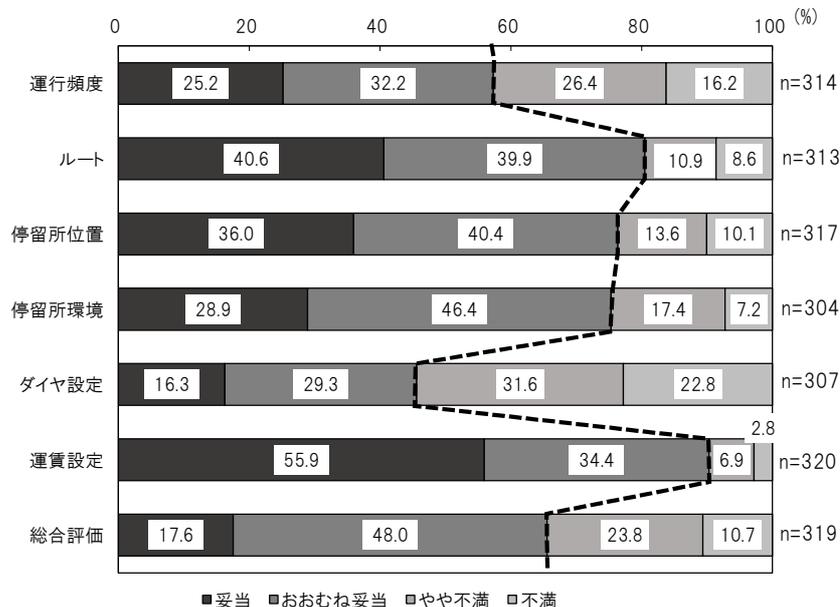
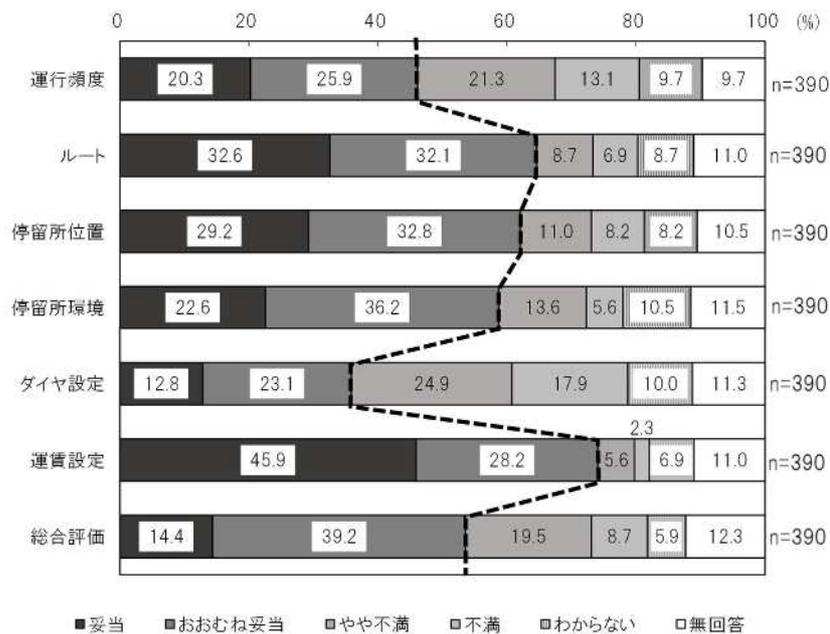
全体(SA) n=390

問5-4. 生活の足としての飛島バス等のサービス水準は、妥当だと思いますか？それぞれの路線毎に、①運行頻度から⑦総合評価までそれぞれの評価する項目について、1~5の当てはまる番号に○をつけてください。（それぞれ1つに○）さらに、特に不満と思う点や改善すべき点等があればその内容をお書きください。

① 飛島バス蟹江線

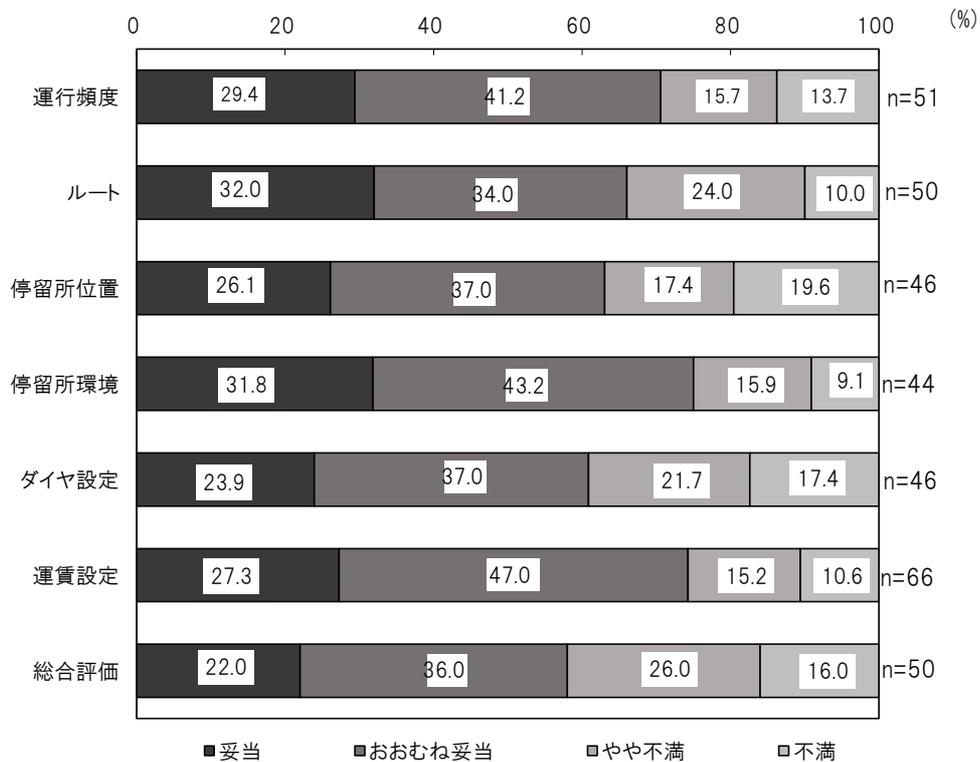
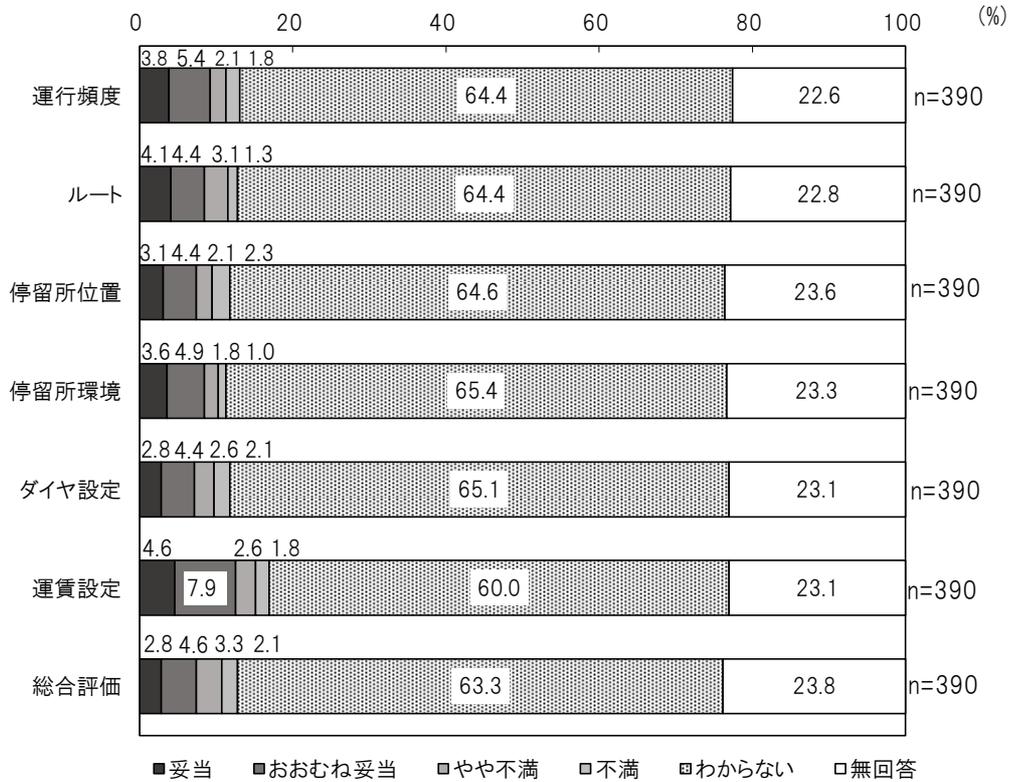
蟹江線のサービス水準の評価としては、「運行頻度」「ダイヤ設定」に対する不満が他の項目と比べ高い。一方で「ルート」「運賃設定」に対しては評価が高い。

サービス水準の総合評価については、「妥当（14.4%）」「おおむね妥当（39.2%）」の合計が53.6%で、「やや不満（19.5%）」「不満（8.7%）」が28.2%となり、概ね妥当とする意見が大きく上回っている。



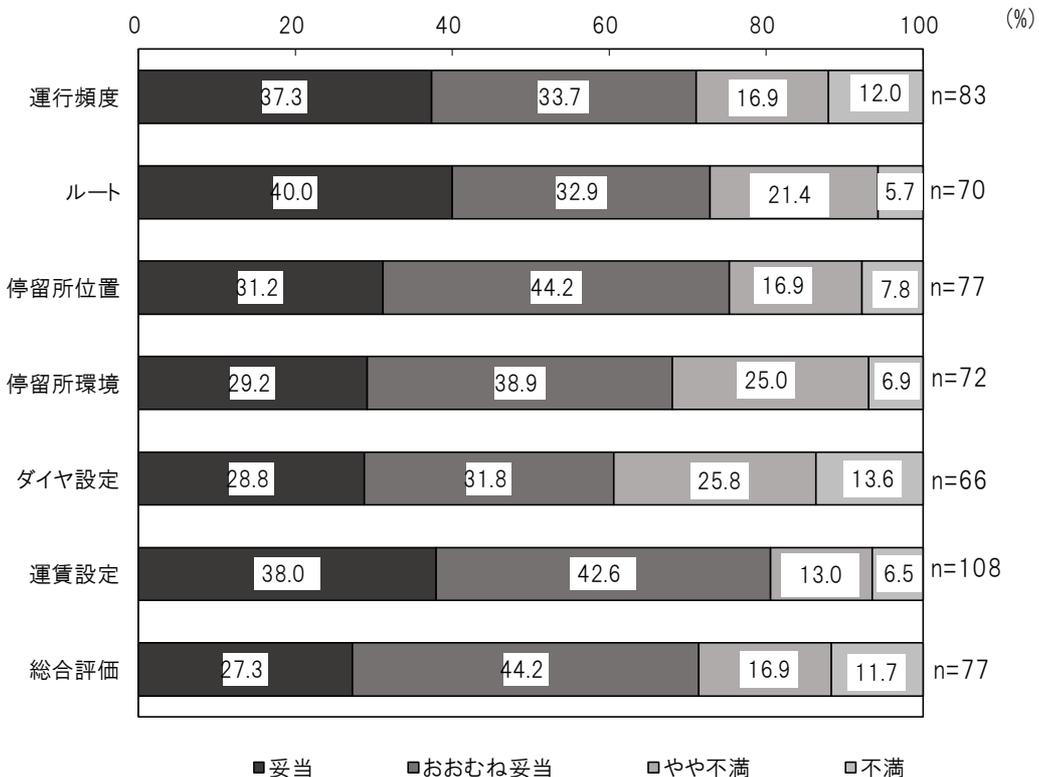
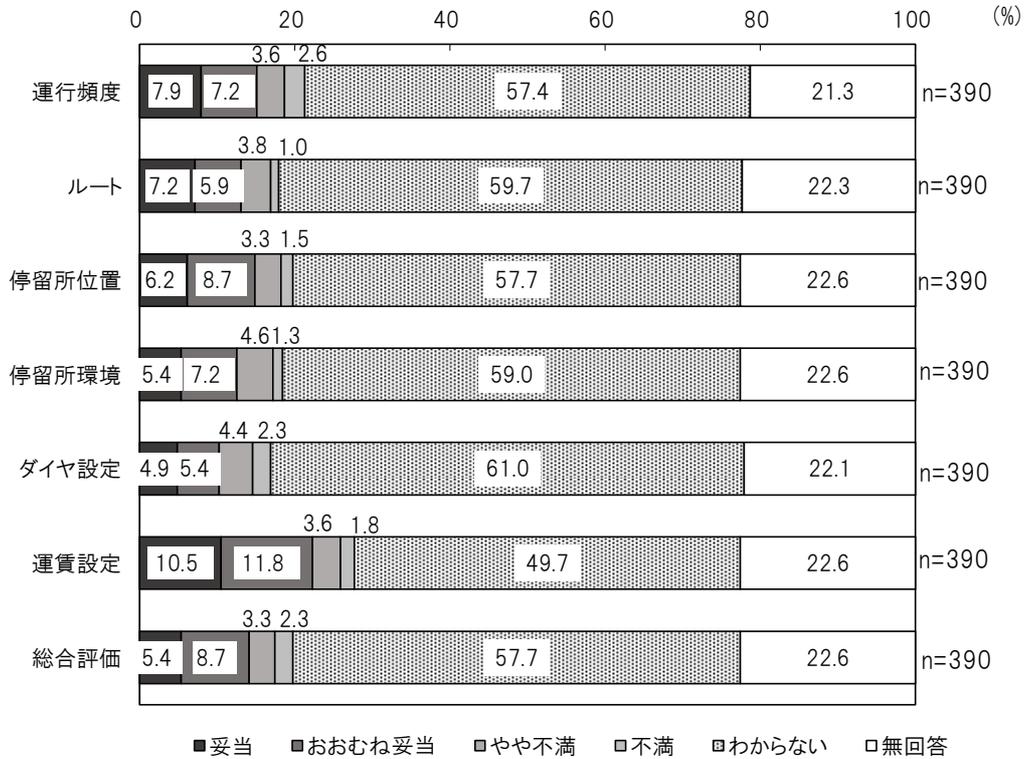
② 飛島バス名港線

名港線のサービス水準の評価としては、「わからない」「無回答」の回答が8割を超えるため、評価が難しい。ただし、全ての項目で不満より妥当を選択する割合が多い結果となった。



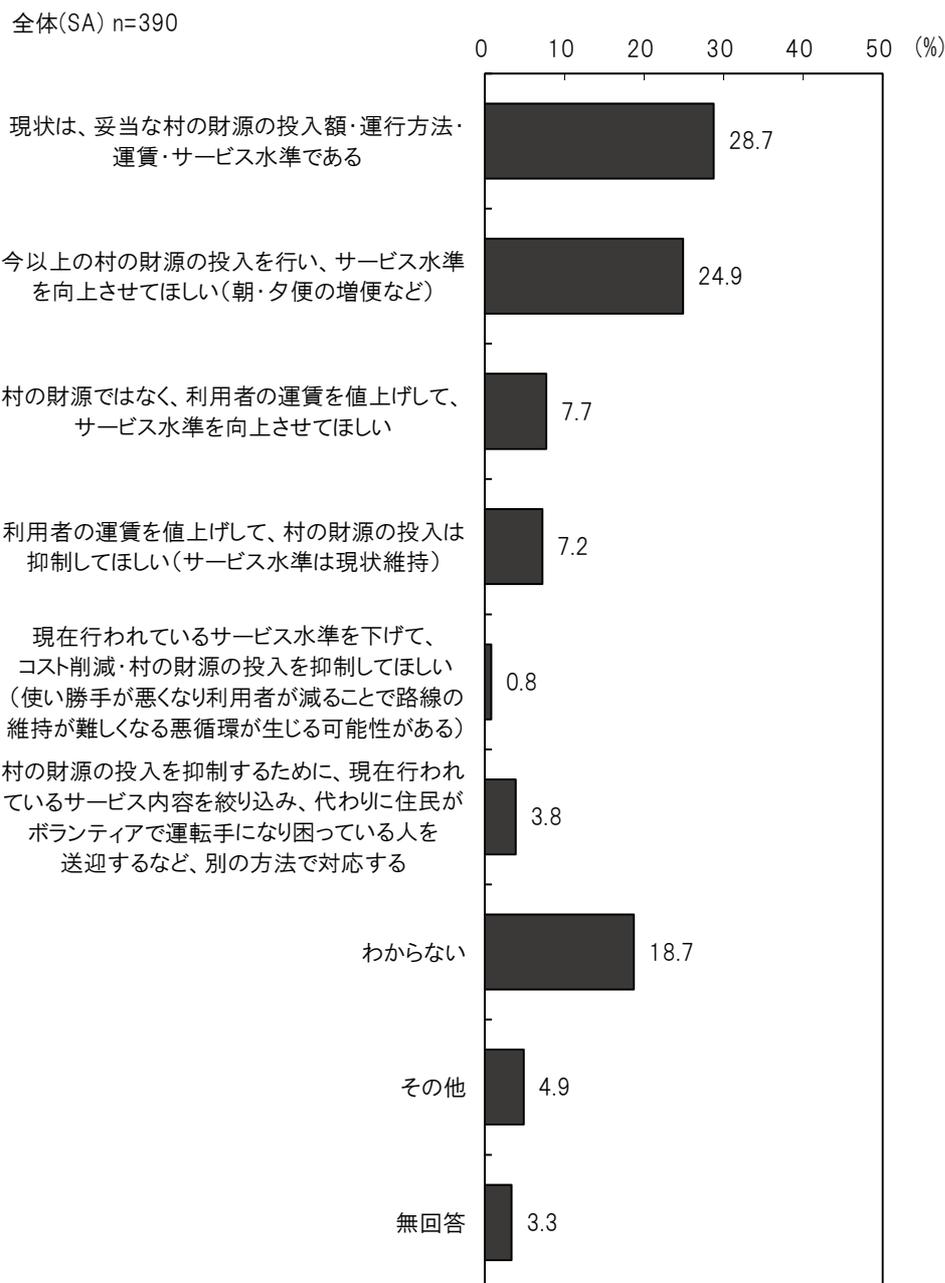
③ 海南病院通院支援タクシー

海南病院通院支援タクシーのサービス水準の評価としては、「わからない」「無回答」の回答が7割を超え、名港線と同様に評価は難しい。ただし、全ての項目で不満より妥当を選択する割合が多い結果となった。



問5-5. 生活の足としての飛島バス等の運行にあたって、今後の村の財源の投入とこれら飛島村内の公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのようにお考えですか？（1つに○）

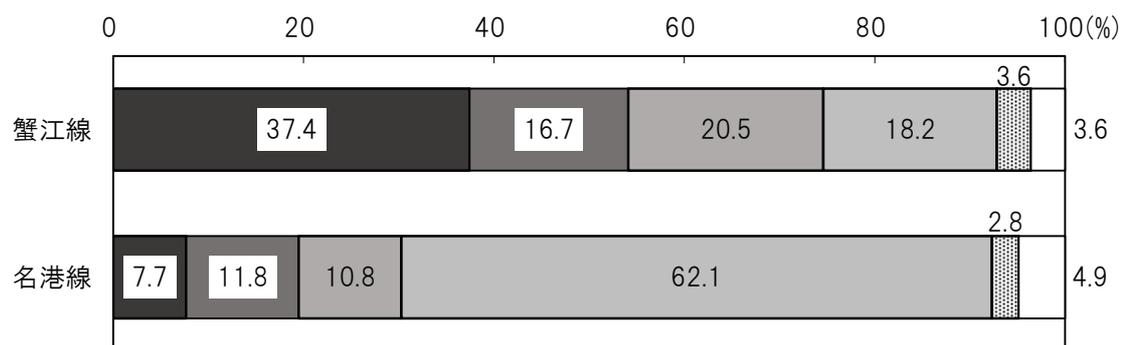
「現状は、妥当な村の財源の投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」の割合が最も多く 28.7%である。「今以上の村の財源の投入を行い、サービス水準を向上させてほしい（朝・夕便の増便など）」は 24.9%である。



問5-6. あなたは、「早朝の時間帯の混雑解消」のため、「増便」する必要があると思いますか？ 「蟹江線」「名港線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。（1つに○）

蟹江線については「増便させるべき」は37.4%、「運賃値上げを条件に増便させるべき」の16.7%を加えると54.1%となり、過半数の住民が蟹江線の増便を賛同している。

名港線については「わからない」が6割を超えており、蟹江線と比べて利用者も少なく生活に直結しないため増便に対する意見は賛同が得られにくい結果となった。

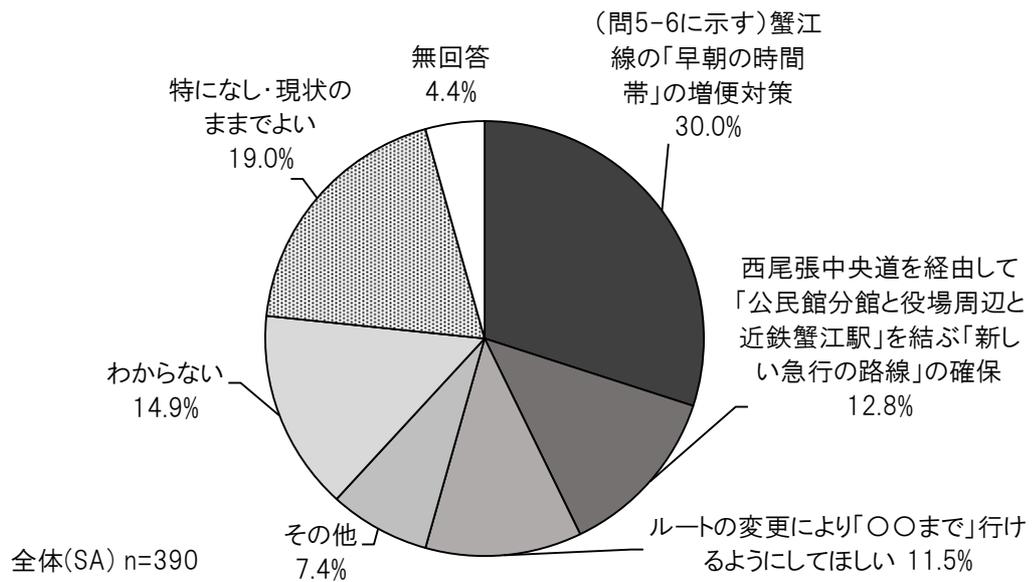


- 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子を見るべき
- わからない
- その他
- 無回答

全体(SA) n=390

問5-7. あなたは、飛島公共交通バスのさらなる利便性の向上のために、どのような対策が重要だと思いますか？ 「重要だと思う対策」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。（1つに○）

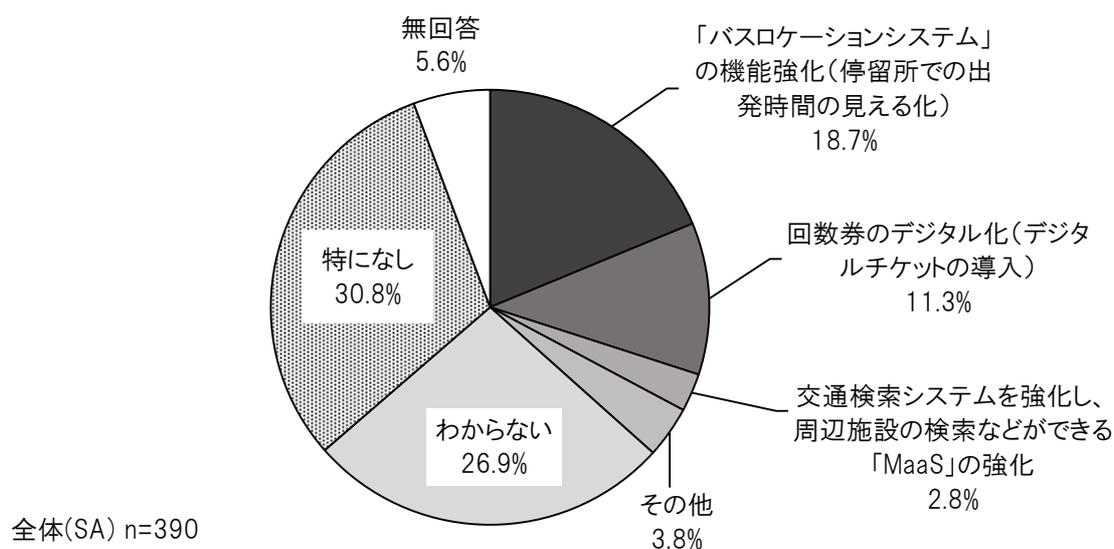
「(問5-6に示す)蟹江線の「早朝の時間帯」の増便対策」の割合が最も多く30.0%である。次いで「西尾張中央道を経由して「公民館分館と役場周辺と近鉄蟹江駅」を結ぶ「新しい急行の路線」の確保」が12.8%である。一方で「特になし・現状のままでよい」は19.0%である。



問5-8. 飛島公共交通バスは、バスロケーションシステム（2017年1月）や交通系ICカード（2021年4月）の導入、交通検索システムの利用など、これまでデジタル対応を行ってきています。

あなたは、今後のデジタル化について、サービス強化して欲しいことがありますか？あなたの考えに近い回答を選んでください。（あなたの考えに近いものに○）

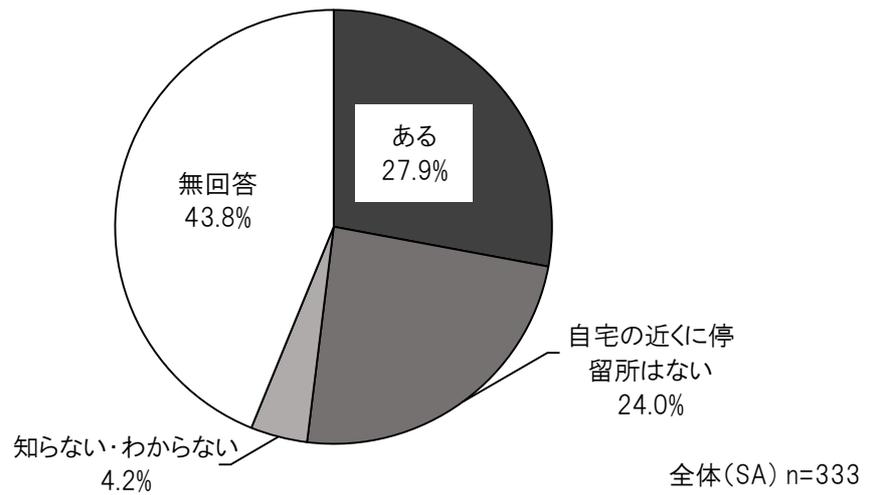
「バスロケーションシステム」の機能強化（停留所での出発時間の見える化）が18.7%、「回数券のデジタル化（デジタルチケットの導入）」が11.3%である。



(6) 飛島バス等を「まったく利用しない人」への設問

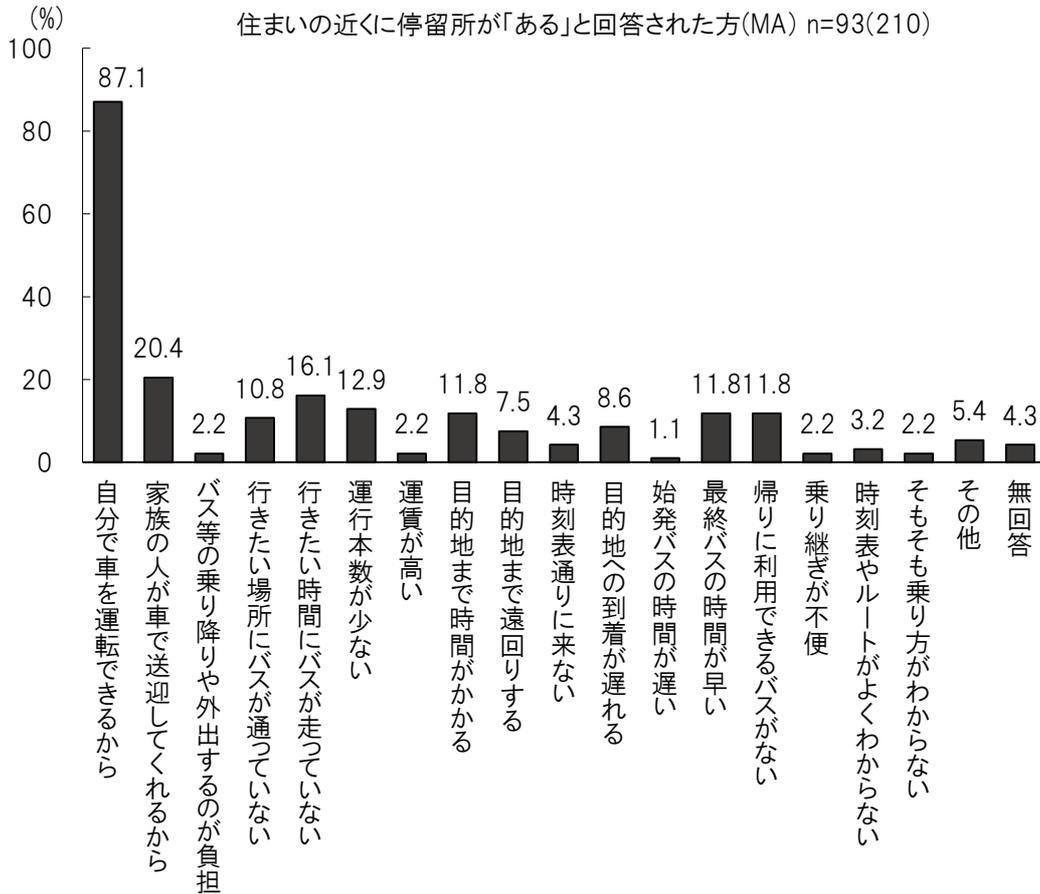
問6-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。(1つに○)

「ある」は 27.9%、「自宅の近くに停留所はない」は 24.0%、「知らない・わからない」は 4.2%である。



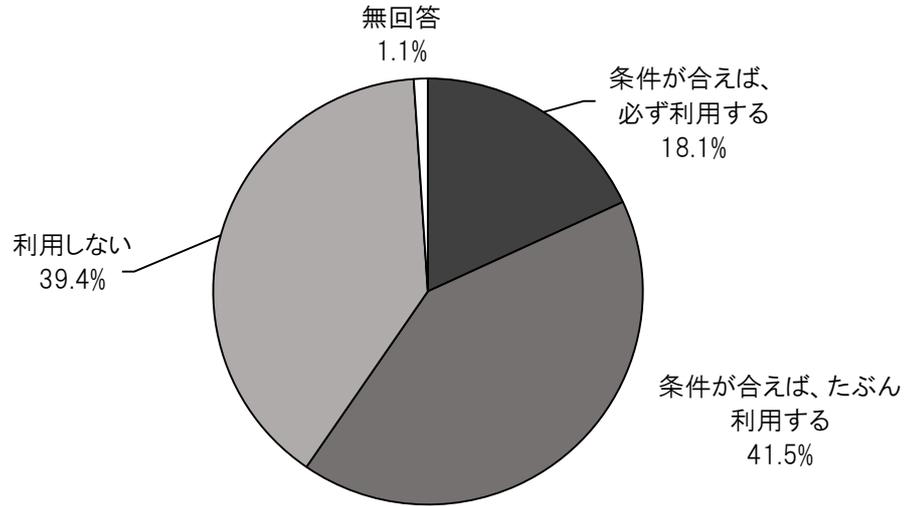
問6-2. 問6-1で、1を選択した人にお伺いします。あなたが「バス等を利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

自宅の近くにバスの停留所があってもバス等を利用しない理由を尋ねたところ「自分で車を運転できるから」の割合が最も多く 87.1%である。次いで、「家族の人が車で送迎してくれるから（20.4%）」、「行きたい時間にバスが走っていない（16.1%）」である。



問6-3. 問6-1で、「2：自宅の近くに停留所はない」「3：知らない・わからない人」を選択した人にお伺いします。自宅近くに飛島バス等が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

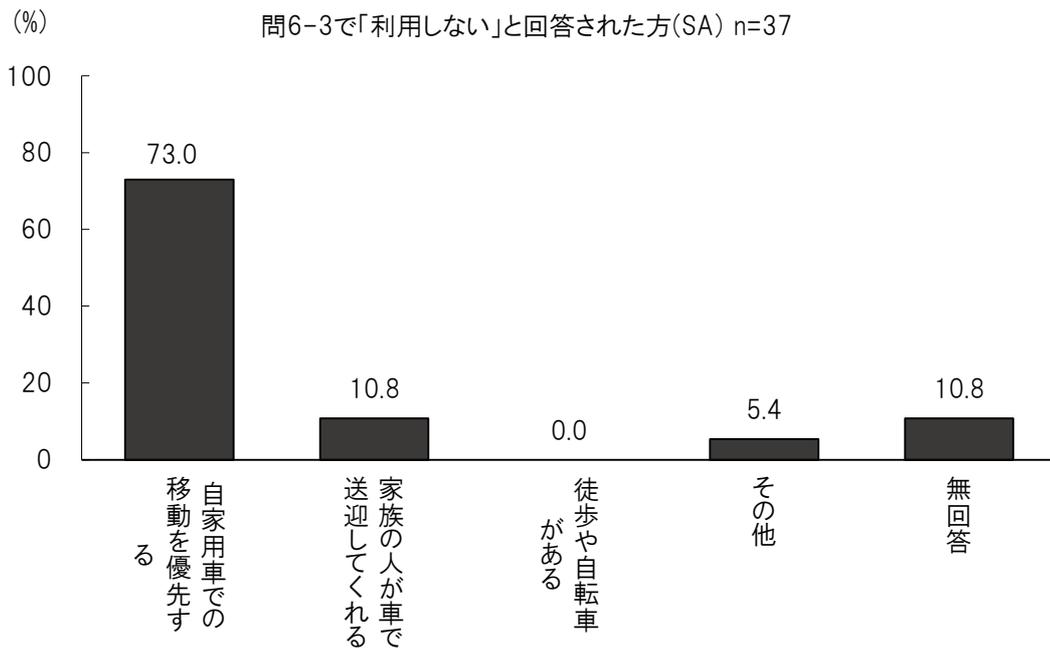
「条件が合えば、必ず利用する」が18.1%、「条件が合えば、たぶん利用する」が41.5%である。一方で「利用しない」は39.4%である。



「自宅近くに停留所がない」「わからない」と回答された方(SA) n=94

問6-3. 利用しない理由は？

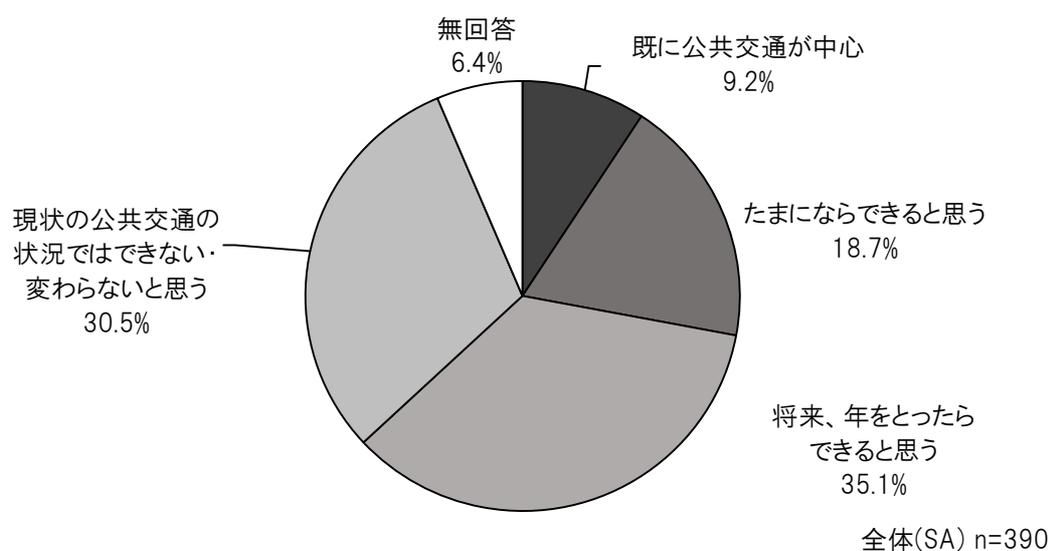
自宅近くに飛島バス等が運行されても利用しないと回答した人に理由を尋ねたところ「自家用車での移動を優先する」の割合が最も多く73.0%である。次いで、「家族の人が車で送迎してくれる（10.8%）」である。



(7)公共交通の転換見通しについて

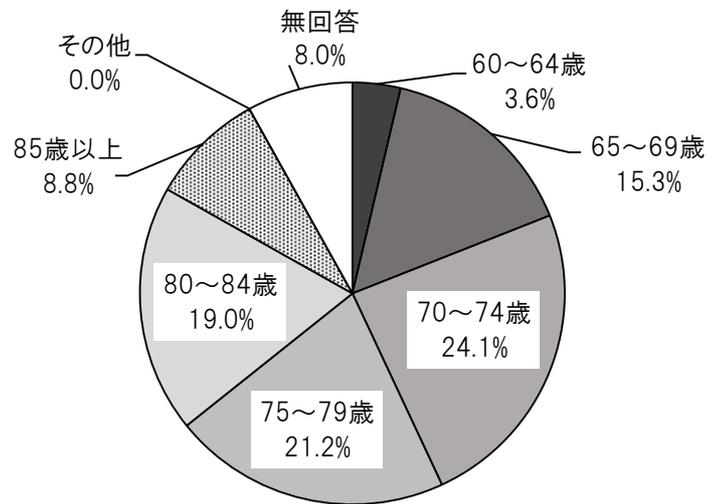
問7-1. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？
(1つに○)

利用転換の見通しについては「たまにならできると思う(18.7%)と「将来、年をとったらできると思う(35.1%)」を合わせると53.8%で、転換する可能性はある。一方で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」は30.5%である。



問7-1. 何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？（1つに○）

「将来、年をとったらできると思う」と回答した人に、転換する年齢を尋ねたところ「70～74歳」の割合が最も多く24.1%である。次いで、「75～79歳（21.2%）」、「80～84歳（19.0%）」である。



問7-1で「将来、年をとったらできると思う」と回答された方全体(SA) n=137

公共交通(バス)に関する住民アンケート調査票

アンケート調査のご協力をお願い

日頃は、行政運営に対して、格段の御理解と御協力を賜り深くお礼申し上げます。

飛島村では、平成 21 年 4 月から飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）、同年 10 月から海南病院通院支援タクシーの運行を開始し、これまで適宜、ルートやダイヤの見直しを行ってきました。

運行開始から 15 年が経過し、将来の公共交通（バス）のあり方を再確認するため、このたび、住民の皆さまを対象に、外出状況や交通手段の実態、今後の公共交通（バス）施策に対する意向等、アンケート調査を実施させていただきます。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、この調査票は統計的に処理し、個別の内容は公表いたしませんので、お答えいただいたことで御迷惑になることはありません。

令和 6 年 8 月

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 会長 加藤 光彦

調査対象	村内在住の 16 歳以上の住民の方の中から無作為で抽出した 1,200 名程度
お問合せ先	飛島村役場 総務部企画課 伊藤 TEL：0567-97-3462
送付先	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 (飛島村がアンケート調査を委託している事業者)

○世帯によっては、複数の方が調査対象になることがありますので、宛名のご本人さまがお答えくださるよう、お願いいたします。

○回答用紙は、返信用封筒に入れて、9月9日(月)までに投函してください。切手は不要です。

○二次元バーコードでの回答方法も可能です。

右のバーコードを読み取って回答ください。



https://questant.jp/q/net_tobishima

■飛島公共交通バス等の利用実績の推移



蟹江線の利用者数の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年比
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846	11,324	12,060	12,599	12,239	13,847	7,321	13,751	14,776	15,732	6.5%
5月	7,152	8,503	8,758	9,182	10,092	10,106	11,143	12,030	13,196	13,899	14,710	6,879	12,212	15,077	16,612	10.2%
6月	7,863	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363	12,231	13,038	13,435	14,077	14,131	12,218	13,792	15,563	16,941	8.9%
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194	11,892	12,708	12,827	13,065	14,514	12,595	13,734	14,412	15,989	10.9%
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910	9,664	11,190	11,103	11,497	12,774	9,246	10,735	11,552	12,747	10.3%
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295	10,741	12,241	11,858	11,633	13,499	11,548	11,292	14,077	14,730	4.6%
10月	7,520	8,125	9,082	9,287	9,538	10,154	11,576	12,876	12,033	14,690	14,240	13,731	13,715	15,257	16,208	6.2%
11月	6,921	8,513	9,190	9,073	9,302	9,337	11,128	11,513	10,558	13,526	13,499	12,635	13,749	14,423	15,393	6.7%
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	9,653	10,559	11,857	12,212	12,687	13,632	12,659	13,416	14,549	15,086	3.7%
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	9,340	10,393	11,050	11,777	13,126	13,567	10,660	11,589	12,704	14,453	13.8%
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	8,865	10,072	10,141	10,650	11,714	11,905	9,980	10,035	12,723	13,317	4.7%
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	9,324	10,608	11,375	11,294	12,123	9,343	11,514	11,786	13,584	13,393	-1.4%
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	114,387	131,331	142,079	143,542	154,276	159,661	130,986	149,806	168,697	180,601	7.1%
増加率		11.8%	6.6%	2.5%	5.5%	3.3%	14.8%	8.2%	1.0%	7.5%	3.5%	-22.5%	14.4%	12.6%	7.1%	

名港線の利用者数の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年比
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196	11,309	10,753	10,656	9,951	10,162	7,967	8,954	8,415	9,743	15.8%
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,099	9,946	10,188	10,310	10,653	10,731	9,520	6,245	6,797	7,659	9,555	24.8%
6月	11,406	11,473	11,311	10,515	10,032	10,870	11,501	11,732	12,082	10,816	9,671	8,743	8,693	9,252	10,699	15.6%
7月	10,577	11,005	10,220	10,155	10,839	11,255	11,555	10,336	10,931	10,538	10,197	8,648	8,465	9,078	10,056	10.8%
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752	9,663	9,950	10,212	9,627	9,142	7,067	7,213	7,958	9,647	21.2%
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815	10,116	10,217	10,205	9,206	9,769	8,341	7,540	9,316	9,819	5.4%
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,105	10,991	10,184	10,374	11,376	10,757	9,103	8,378	9,332	10,327	10.7%
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	9,468	10,036	10,062	9,980	10,504	9,942	8,210	8,567	9,752	9,911	1.6%
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	9,656	9,552	9,467	9,536	9,745	9,416	7,914	8,091	9,052	9,622	6.3%
1月	9,066	9,177	8,986	8,349	9,670	9,499	9,383	9,395	8,708	8,870	9,049	7,022	7,541	8,525	8,976	5.3%
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	9,775	10,193	9,394	9,133	9,678	8,929	6,742	7,452	8,822	9,414	6.7%
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	11,325	10,922	10,975	10,156	9,871	9,267	8,502	8,630	10,350	9,824	-5.1%
合計	118,896	123,437	120,972	113,669	120,066	123,662	125,409	122,775	122,626	120,913	115,821	94,504	96,321	107,511	117,593	9.4%
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%	1.4%	-2.1%	-0.1%	-1.4%	-4.2%	-18.7%	1.9%	11.6%	9.4%	

公共交通（バス）に関する住民アンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？ 性別のご回答は任意です。	1: 男性 2: 女性 3: 回答しない
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75歳以上
お住まいは？	1: 大用水 2: 中江 3: 汐除 4: 南竹之郷 5: 北竹之郷 6: 南枕江 7: 北枕江 8: 中用水 9: 上用水 10: 梅之郷 11: 三福 12: 笹之郷 13: 泉之郷 14: 古台 15: 大宝西 16: 大宝東 17: 重宝 18: 八島 19: 北古政 20: 南古政 21: 西新政 22: 東新政 23: 北新政 24: 木場一 25: 木場二 26: 金岡 27: 東浜一 28: 東浜二 29: 東浜三 30: 西浜
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 ()
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|---------------------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 | 3: 週に3～4日 |
| 4: 週に1～2日 | 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 7: その他 |

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます) ※問(1)～問(3)全てにお答えください。

	外出する頻度は? (1つに○をつけてください)	その時の「交通手段」は? (該当するすべての番号に○をつけてください)
問(1) 「通勤・通学」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問(2)へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛島バス(蟹江線) 8: 飛島バス(名港線) 9: 近鉄 10: 地下鉄 11: あおなみ線 12: その他()
問(2) 「買い物や 娯楽」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問(3)へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛島バス(蟹江線) 8: 飛島バス(名港線) 9: 近鉄 10: 地下鉄 11: あおなみ線 12: その他()
問(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (6頁の問3へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛島バス(蟹江線) 8: 飛島バス(名港線) 9: 海南病院通院支援タクシー 10: 近鉄 11: 地下鉄 12: あおなみ線 13: その他()

「目的地」はどこですか？ <small>場所を教えてください。(該当するすべての番号に○をつけてください)</small>		外出の「時間帯」は？ <small>(該当するすべての番号に○をつけてください)</small>	
場所		出発の時間帯	帰宅の時間帯
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()		1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()		1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()		1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時

問3. 日常の移動に対する意識についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？（1つに○）

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1 または 2 を選択した、日常の公共交通での移動に不便を感じている人にお伺いします。

不便に感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

- 1: 自宅からバス停留所までが遠い
- 2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が安い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮がある
- 5: 介助や杖を必要とする・外出そのものが困難な状況である
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他（ _____ ）

問3-2. 「公共交通(バス・タクシー)の停留所がない」または「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？（1つに○）

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バス等の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4-1. 飛島村内のバス等の公共交通の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは村内の公共交通について、知っていますか？

公共交通	それぞれ知っていますか？（それぞれ1つに○）
蟹江駅と結ぶ 「飛島公共交通バス 蟹江線」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。
名古屋港と結ぶ 「飛島公共交通バス 名港線」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。
海南病院と結ぶ 「海南病院通院支援タクシー」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。

(2)あなたは村内の公共交通をどの程度利用されますか？ (1つに○)

1: 週に3日以上	2: 週に1~2日	3: 1ヶ月に数日	4: 年に数日
5: ほとんど乗らない(問4-2へ)			

(3)主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

1: 通勤	2: 通学	3: 買い物	4: 塾・習い事	5: 趣味・娯楽
6: 通院	7: 福祉施設の利用	8: その他公共施設の利用		
9: その他 ()				

(4)主に利用する公共交通をお答えください。(すべてに○)

1: 飛島公共交通バス(蟹江線)
2: 飛島公共交通バス(名港線)
3: 海南病院通院支援タクシー
4: その他 ()

問4-2. 現状の「飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)」のサービス水準(運行本数、ルート等)について、満足していますか？ それぞれのサービスごとに教えてください。また、その満足・不満の理由をお答えください。

※満足度の回答欄が、「5:利用していないからわからない」を選択した場合は、「満足・不満の理由の回答欄」は、空欄としてください。

	満足度の回答欄 (選択肢 1~5の番号記入)	満足・不満の理由の回答欄 (選択肢 1~9の番号記入)		
	飛島公共交通バス(蟹江線)について			
飛島公共交通バス(名港線)について				

○満足度の選択肢(それぞれ1つまで選び回答欄に記入ください)

1: 満足	2: おおむね満足	3: やや不満	4: 不満
5: 利用していないからわからない			

○満足・不満の理由の選択肢(それぞれ3つまで選び回答欄に記入ください)

満足な理由(1:満足・2:おおむね満足)	不満な理由(3:やや不満・4:不満)
1: 目的地に直接行ける	1: 目的地に直接行けない
2: 目的地まで早く行ける	2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる)
3: 自宅から停留所までが近い	3: 自宅から停留所までが遠い
4: 乗りたい時間に運行している	4: 乗りたい時間に運行していない
5: 運賃が安い	5: 運賃が高い
6: 座れる	6: 座れない
7: 時間通りに来て予定が組みやすい	7: 時間が読めない。予定が組みにくい
8: 利用方法が簡単	8: 利用方法を知らない・難しい
9: その他 ()	9: その他 ()

問4-3.「海南病院通院支援タクシー」のサービス水準(運行本数、停留所位置等)について、満足していますか？ また、その満足・不満の理由をお答えください。

※満足度の回答欄が、「5:必要としていない、6:利用していないからわからない」を選択した場合は、「満足・不満の理由の回答欄」は、空欄としてください。

	満足度の回答欄 (選択肢 1~6 の番号記入)	満足・不満の理由の回答欄 (下の選択肢の番号記入)		
海南病院通院支援タクシーについて				

○満足度の選択肢(それぞれ1つまで選び回答欄に記入ください)

- | | | | |
|-------------|-------------------|---------|-------|
| 1: 満足 | 2: おおむね満足 | 3: やや不満 | 4: 不満 |
| 5: 必要としていない | 6: 利用していないからわからない | | |

○満足・不満の理由の選択肢(それぞれ3つまで選び回答欄に記入ください)

満足な理由(1:満足・2:おおむね満足)

不満な理由(3:やや不満・4:不満)

- | |
|--|
| 1: 目的地に直接行ける
2: 目的地まで早く行ける
3: 自宅から停留所までが近い
4: 乗りたい時間に運行している
5: 運賃が安い
6: 座れる
7: 時間通りに来て予定が組みやすい
8: 利用方法が簡単
9: その他 () |
|--|

- | |
|---|
| 1: 自宅から停留所までが遠い
2: 乗りたい時間に運行していない
3: 運賃が高い
4: 時間が読めない。予定が組みにくい
5: 利用方法を知らない・難しい
6: その他 () |
|---|

○「5:必要としていない」と回答された方にお伺いします。必要としない理由は何でしょうか。解答欄にその理由をご記入ください。

--

問5. 飛島村の公共交通(バス)事業についてお伺いします。

問5-1. 飛島村では平成21年から皆さまの生活の足としての「飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)・海南病院通院支援タクシー(以下「飛島バス等」といいます。)」の運行を開始しました。

(1)飛島バス等の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。(すべてに○)

- | |
|--|
| 1: バス交通が無い交通空白地域が解消され、どの地域も移動の「公平性」が確保された
2: 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
3: 新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
4: 何も変わらない
5: わからない |
|--|

(2)飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1: 外出する機会が増えた
3: わからない | 2: 何も変わらない
4: その他 () |
|---------------------------|--------------------------|

(3)飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、**移動手段・行動について変化がありましたか**。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1: 地域公共交通を積極的に利用するようになった | 2: 何も変わらない |
| 3: わからない | 4: その他 () |

(4)これまで、飛島バス等の利用を促すために、村によりさまざまな取り組みを行ってきました。

選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1: バスロケーションシステムを導入し、インターネット上で運行状況が確認できる |
| 2: 停留所付近に「自転車駐輪場」を確保し、バス利用環境を向上させている |
| 3: ふるさとフェスタのイベントブースでの飛島バスの体験・PR活動を行っている |
| 4: バス感謝デーの無料バス運行の取り組みを行っている |
| 5: 村が発行する時刻表やホームページによる広報活動を行っている |
| 6: 老人クラブなどの出張訪問による広報活動を行っている |
| 7: 2021年4月より交通系ICカードの導入を行っている |
| 8: GTFS 対応による交通検索システムでのルート・料金等が検索できる |
| <small>(GTFS : General Transit Feed Specification = 世界標準の公共交通データフォーマット。オープンデータとしてデータ公開することで、経路検索サービスや地図サービスのアプリケーション開発者にてサービス提供が行われるようになっている。)</small> |
| 9: その他 () |

飛島村では、令和5年度、飛島バス等に対して、運賃等を除いた運行委託費として、約11,517万円を交通事業者に支払い、公共交通の維持のために村の財源を投入しています。

各路線別の収支構造は次のとおりです。

※万円又は円以下四捨五入

<令和5年度の実績>

(R5.4.1 現在 1,744 世帯)

	事業経費 A	収 入 B	国庫補助金 C	運行委託費 A-B-C	1世帯 当たり
飛島バス (蟹江線)	約 9,197 万円	約 3,362 万円	約 1,240 万円	約 4,595 万円	約 26,347 円
飛島バス (名港線)	約 13,312 万円	約 5,639 万円	約 933 万円	約 6,740 万円	約 38,647 円
海南病院通院 支援タクシー	約 214 万円	約 32 万円	—	約 182 万円	約 1,044 円
小 計	約 22,723 万円	約 9,033 万円	約 2,173 万円	約 11,517 万円	約 66,038 円

※事業経費A・・・飛島バス等の運行に必要な経費(三重交通等に対する委託費用)

※収 入B・・・運賃や定期券収入

※国庫補助金C・・・国からの補助金(運行事業者への補助金)

※運行委託費・・・村が負担している費用(村の財源)

問5-2. 生活の足としての飛島バス等を維持することで、飛島村内の交通空白地域は小さくなる一方で、それぞれの路線維持のために村の財源を投入しています。村の財源の投入による公共交通のサービス提供についてあなたは、どう思いますか？（1つに○）

1: 村の財源で村内全域をカバーすることは、「公平性」の観点から賛成である。「公平性重視」 2: サービスごとに利用者数や村の財源の投入額が異なることから、逆に「不公平」となる。事業性の悪いサービスは、廃止も含めて改善すべき。「効率性重視」 3: 公平性・効率性のどちらを重視すればよいのかわからない 4: その他（ _____ ）

問5-3. 生活の足としての飛島バス等を維持するために「1世帯当たり年間約 66,038 円」の村の財源を投入しています。この投入額を、どう思いますか？（1つに○）

1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問5-4. 生活の足としての飛島バス等のサービス水準は、妥当だと思いますか？ それぞれの路線毎に、①運行頻度から⑦総合評価までそれぞれの評価する項目について、1～5の当てはまる番号に○をつけてください。（それぞれ1つに○）
さらに、特に不満と思う点や改善すべき点等があればその内容をお書きください。

選択肢	1: 妥当 2: おおむね妥当 3: やや不満 4: 不満 5: わからない														
評価する項目	飛島バス 蟹江線 (1乗車 200円)					飛島バス 名港線 (1乗車 500円)					海南病院通院 支援タクシー (1乗車 500円)				
①運行頻度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②ルート	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③停留所の位置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④停留所環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ダイヤの設定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥運賃設定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦総合評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	↓					↓					↓				
特に不満と思う点や改善すべき点があれば、その内容をお書きください。															

問5-5. 生活の足としての飛島バス等の運行にあたって、今後の村の財源の投入とこれら飛島村内の公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのようにお考えですか？ (1つに○)

- 1: 現状は、妥当な村の財源の投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の村の財源の投入を行い、サービス水準を向上させてほしい(朝・夕便の増便など)
- 3: 村の財源ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: 利用者の運賃を値上げして、村の財源の投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 5: 現在行われているサービス水準を下げて、コスト削減・村の財源の投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることによる路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 6: 村の財源の投入を抑制するために、現在行われているサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 7: わからない
- 8: その他 ()

飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)では、利用者数が拡大している一方で、早朝便の利用が多く、非常に混雑している状況にあります。

問5-6. あなたは、「早朝の時間帯の混雑解消」のため、「増便」する必要があると思いますか？
「蟹江線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。 (1つに○)

- 1: 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 2: 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 3: 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子を見るべき
- 4: わからない
- 5: その他 ()

「名港線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。 (1つに○)

- 1: 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 2: 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 3: 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子を見るべき
- 4: わからない
- 5: その他 ()

問5-7. あなたは、飛島公共交通バスのさらなる利便性の向上のために、どのような対策が重要だと思いますか？ 「重要だと思う対策」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。(1つに○)

- 1: (問5-6に示す)蟹江線の「早朝の時間帯」の増便対策
- 2: 西尾張中央道を経由して「公民館分館と役場周辺と近鉄蟹江駅」を結ぶ「新しい急行の路線」の確保
- 3: ルートの変更により「〇〇まで」行けるようにしてほしい
(具体的に接続したい目的地・場所を記入ください：_____)
- 4: その他 (_____)
- 5: わからない
- 6: 特になし・現状のままでよい

問5-8. 飛島公共交通バスは、バスロケーションシステム(2017年1月)や交通系ICカード(2021年4月)の導入、交通検索システムの利用など、これまでデジタル対応を行ってきています。
あなたは、今後のデジタル化について、サービス強化して欲しいことがありますか？ あなたの考えに近い回答を選んでください。(あなたの考えに近いものに○)

- 1: 「バスロケーションシステム」の機能強化(停留所での出発時間の見える化)
- 2: 回数券のデジタル化(デジタルチケットの導入)
- 3: 交通検索システムを強化し、周辺施設の検索などができる「MaaS」の強化
(MaaS: Mobility as a Service = 複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス。観光や医療等の交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する施策)
- 4: その他(対応すべき事項を記入ください：_____)
- 5: わからない
- 6: 特になし

問6. 飛島バス等を「まったく利用しない人」だけにお伺いします。

※飛島バス等を利用する人(当てはまらない人)は、次の問7にお進みください。

問6-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。(1つに○)

- 1: ある 問6-2を回答ください
- 2: 自宅の近くに停留所はない
- 3: 知らない・わからない } 問6-3を回答ください

問6-2. 上記問6-1で、1を選択した人にお伺いします。あなたが「バス等を利用しない理由」をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- 1: 自分で車を運転できるから
- 2: 家族の人が車で送迎してくれるから
- 3: バス等の乗り降りや外出するのが負担
- 4: 行きたい場所にバスが通っていない
- 5: 行きたい時間にバスが走っていない
- 6: 運行本数が少ない
- 7: 運賃が高い
- 8: 目的地まで時間がかかる
- 9: 目的地まで遠回りする
- 10: 時刻表通りに来ない
- 11: 目的地への到着が遅れる
- 12: 始発バスの時間が遅い
- 13: 最終バスの時間が早い
- 14: 帰りに利用できるバスがない
- 15: 乗り継ぎが不便
- 16: 時刻表やルートがよくわからない
- 17: そもそも乗り方がわからない
- 18: その他 (_____)

問6-3. 上記問6-1で、「2:自宅の近くに停留所はない」「3:知らない・わからない」を選択した人にお伺いします。

自宅近くに飛島バス等が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- 1: 条件が合えば、必ず利用する
- 2: 条件が合えば、たぶん利用する
- 3: 利用しない

※利用しない理由は？

- ア) 自家用車での移動を優先する
- イ) 家族の人が車で送迎してくれる
- ウ) 徒歩や自転車で移動する
- エ) その他（ _____ ）

問7. 公共交通の転換見通しについてお伺いします。

問7-1. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？（1つに○）

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？

- ア) 60~64歳
- イ) 65~69歳
- ウ) 70~74歳
- エ) 75~79歳
- カ) 80~84歳
- キ) 85歳以上
- ク) その他（ _____ 歳）

- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に回答用紙を入れて、切手を貼らずに、令和6年9月9日（月）までに投函してください。

■参考情報

一部のバス停に駐輪場を設けています。ぜひご利用ください。

新政成神社・政成・飛島村役場・松之郷（あいち海部農協）
飛島（北拠点避難所）・神戸山



～飛島公共交通バス（蟹江線）をご利用の皆さま～
一部のバス停に駐輪場を設けています。



バスロケーションシステムについて

バスロケーションシステムを導入していますので、飛島バスの運行状況をパソコンやスマートフォンで確認できます。

スマートフォンで見える場合

①利用路線
②利用停留所
を選択

時刻表

時刻	バス
7	30-35
8	30-35
9	30
10	15
11	30
12	15-20
13	30
14	15-20
15	30-35
16	15-20
17	30-35

運賃

乗車区間	乗車券	運賃
近鉄蟹江駅前 停留所	乗車券	大人 100円 小児 50円
運賃均一		200円 100円

画像はイメージです。

下記URLまたはQRコードからアクセスしてください。

<http://tobishima.bus-go.com>

